

車座会議市民意見及び市長回答の概要

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/15	1	■貧困により教育の根幹が崩れつつあるので、基本計画では、教育分野に重点的に取り組んでほしい。	■議員時代から格差の拡大を実感していた。ご意見の趣旨は理解した。	9	学校教育	既に基本計画に盛り込まれています。
10/15	2	■母親が安心して働ける環境づくりなど、地域の雇用環境も充実してほしい。	■議員時代から格差の拡大を実感していた。ご意見の趣旨は理解した。	10	地域経済・雇用	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/15	3	■子供ばかりでなく、元気な高齢者がいつまでも元気なまま過ごせる「健やかに育て、健やかに老いる」ことが大事である。	■横須賀市の高齢化率は県内でも高い方である。元気な高齢者であり続けるためには、家の外に出ること、趣味を持つことが大事だと認識している。	3	高齢者福祉	既に基本計画に盛り込まれています。
10/15	4	■米軍基地は必要ない。いつ原子力事故が起こるかかわからない。今すぐには言わないが、米軍とかけあい、交渉してほしい。	■原子力潜水艦に対する不安を払拭することは市長の役割である。可能な限りの返還、統合・縮小を求める基本構想の理念を守りつつ、現実としての基地の存在も受け止め、できることにしっかり取り組みたい。	16	その他	意見として伺いました。
10/15	5	■台風18号により、河川の氾濫がみられた。安全・安心のあるまちにしてみたい。	■災害対策については、ハード面は行政が計画的に取り組む必要がある。一方、ソフト面では、災害時の1人暮らし高齢者の安否確認など町内会等の協力が必要である。	6	防災・防犯	既に基本計画に盛り込まれています。
10/15	6	■学校教育の充実には、横須賀市だけでなく国全体で取り組む必要がある。また、先生、父兄、地域の人たちの協力もお願いして推進してほしい。	■学習指導要領の存在や教職員の人事権など教育分野は国や県の関与が強い。また、学校づくりには地域の多くの人の関与が必要である。その中で市ができることを見極めながら取り組んでいきたい。	9	学校教育	既に基本計画に盛り込まれています。
10/15	7	■昔と比べると緑が荒れてきている。横須賀市には林業がないが、所有者自身が経済的効果を生み出す林の活用手法があるとよい。	■緑は人の手が入らなければどんどん衰退する。林業は、担い手や事業性の問題があるが、自主的に取り組みたいという人がいれば応援したい。	1	自然環境	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/15	8	■県に無償譲渡された湘南国際村のB・C地区の活用方法について、市も知識や知恵を出すなど、市民の活動をバックアップし、協力してほしい。	■湘南国際村のB・C地区は、現在、県の所有であるため、市としてものを言いにくい部分もあるが、市民の意欲的な活動に対しては、一緒になって県に対してものを言うことはできると思う。	1	自然環境	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/15	9	■重症心身障害児(者)施設の整備進捗状況を教えてもらいたい。	■前市長の掲げた平成23年度までの整備は難しいが、私のマニフェストで掲げている通り、4年以内の着手をお約束する。	4	障害者福祉	質問事項と捉え回答しました。
10/15	10	■赤字削減のために人件費を削減するのであれば、職員ではなく、まず市長・議員などトップから削減してほしい。	■人件費は全体的に高く、退職者の不補充も含めて、削減していかざるを得ない。ただ、一律的な給与削減ではなく、しっかりと働く職員が報われる人事・給与システムとして考えたい。	15	財政	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/15	11	■先日の台風18号のときに、市から避難勧告が出たが、当日の連絡体制に混乱があった。行政による指示を徹底してほしい。	■人の命に関わることなので、今後気をつけてしっかり対応していきたい。	6	防災・防犯	事業の実施や見直しの参考とします。
10/15	12	■処理場の汚水が小田和川に流れ込み、小田和湾の水質が悪化しているのではないかと。海苔の養殖にも影響が出ている。子どもが遊べ、魚が見える川・湾であってほしい。水質に関する実態調査を実施し、善後策を講じてもらいたい。	■水質調査は定期的に行っている。処理場の能力は問題ないと思うので、他の場所で生活用水などが流れ込んでいる可能性もある。海苔は地場産業でもあり、問題意識をもって調査、対策を考えていきたい。	1	自然環境	質問事項と捉え回答します。 【回答】 西浄化センターの放流水については、法律で定められた基準以上にきれいに浄化された水を放流しています。小田和湾及び流入河川の水質等の環境については、西浄化センターの稼働(平成10年3月)に先立ち、平成元年度から継続して調査を行っています。 調査結果は、地元漁協、有識者、行政職員を委員とする「西浄化センター下水道対策協議会」において報告し、情報の共有を図っています。 調査結果の概要としては、①河川水質は下水道の普及により改善効果が現れています。 ②小田和湾の水質では、下水道の供用開始後は極端な変動は少なくなり、安定化傾向にあると考えますが、ここ数年、一部の項目で数値の上昇傾向を示すものもあり注意が必要と考えています。数値の上昇は僅かなレベルであり、直接的に漁業に影響を与える状態ではないと判断しています。 ③海苔の養殖への影響については地元漁協から「西浄化センター下水道対策協議会」に申し出があり、調査を行っていますが、有識者からは、海苔漁場周辺の土壌が、利用・採取されない海藻類の堆積・腐敗により劣化していることが原因ではないかとの見解が示されています。 上下水道局としては、今後も浄化センターの放流水が周辺環境にどのような影響を与えるのかを確認し、必要な対策を行うため、継続して調査して行く予定です。 【上下水道局計画課】
10/15	13	■市長に対する市議会議員の支援状況(選挙時は反対39対賛成3)は現在どうなっているのか。議会はきちんと運営されているのか。市議会に関するマスコミ報道をどう考えるか。	■市長と市議会は二元代表制であり、各議員には是非々の立場で望んでもらっており有難く感じている。副市長人事の件は今回私の方で手続き上のミスがあり、12月議会にもう1度提案したいと考えている。一方的な議会批判は本意ではない。	16	その他	意見として伺いました。
10/15	14	■広報よすかを改めて読んで非常にわかりやすかった。今後も、是非、市長の想いを紙面に表してもらえるとよい。	■直接市民に対して、考えや想いを伝える機会は限られているので、広報は、是非有効に利用していきたい。	16	その他	事業の実施や見直しの参考とします。
10/15	15	■市の財政状況は、平成元年から20年間でどのように変化したのか。	■市の借金は、前々市長時代から徐々に減少しているが、まだ多いと思われる。	15	財政	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/15	16	■一般就労、特例子会社、地域作業所も含めて、障害者が元気に働ける場所をつくり、経済的に自立できるよう応援してほしい。	■現在、特例子会社で作っている製品や仕事を一覧化して、企業に訪問してPRしているところである。市としても、できる限り特例子会社に発注したいと考えており、是非積極的に利用してもらいたい。	4	障害者福祉	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/15	17	■今春、高校を卒業する子ども(障害児)が農業に取り組んでいるので、休耕地の斡旋や市有地の提供を検討してほしい。	■市では、市内の全ての休耕地を把握しているので、紹介やコーディネートを行うことは可能だと思う。	4	障害者福祉	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。 【補足】 現在の法律では、農地の賃借については、農家資格が必要となります。農業を目的とする市有地の提供は行っておりません。就農等に係る詳細な相談については、農業委員会にご相談ください。 【農林水産課】
10/15	18	■野焼きは、光化学スモッグの発生要因になるなど、健康への被害もある。条例で禁止しているはずなので、市が町内会等で関係者を集めて説明を行ってはどうか。	■燃やす側の農家等の立場、燃やされる側の立場の両方の立場がある。条例の詳細が確認できずこの場では回答できないため、持ち帰らせて頂く。	16	その他	質問事項と捉え回答します。 【回答】 屋外燃焼行為については「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」により制限されていますが、例外として農林業者等が行う燃焼行為については認められています。ただし、認められる燃焼行為であっても、他人に黒煙や悪臭など生活環境の被害を与えるような燃焼行為をしてはならないとされていますので、現地確認等により指導を行っています。なお、廃棄物の処理及び清掃に関する法律においても、廃棄物の焼却は禁止されていますが、農林業者等が行うものについて例外としています。また、地元町内会に条例等の説明を行っており理解は得られていますが、今後も町内会からの要望があれば説明を行っていきます。 【環境管理課】
10/16	1	■近年では、町内会・老人会を辞める人も多く、子供会もなくなっている等、地域の間人間関係が希薄化している。安全で安心な地域を作るには地域の輪が必要ではないか。	■地域の体制作りは大切だと感じているが、市役所が強制的に市民を町内会に加入させたり、町内会役員に任命することはできない。市役所の役割は、地域の活動情報を市民と共有しながらサポートすることだと考えており、今後とも具体的な方策があれば情報共有したい。	14	地域自治活動	既に基本計画に盛り込まれています。
10/16	2	■町内会は気が進まない仕事も多く、参加者が定着しない。市長から町内会の活動に参加することを呼びかけてほしい。	■地域の旗振り役として頑張りたい。	14	地域自治活動	意見として伺いました。
10/16	3	■野比・長沢・津久井地区の田・ため池がなくなり、水生昆虫が少なくなっている。地域の河川や昆虫に係わる人が集まって、自然環境に取り組む活動を盛り上げてほしい。	■水辺を大切にしたいと考えているが、一方で水辺を埋め立てたりすることを一概に否定できない。横須賀市にもホタルが生息している地域もあり、大切にしていきたいと考えている。市の取り組みとしては、EM菌などを活用した自然環境の保全も行っている。また、環境保全活動をしている人もいるため、支援していきたいと考えている。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。
10/16	4	■町内会で広報を配布するとき一声かける「一声運動」という活動がある。近年では、広報が予定よりも数日遅れることも多いが、一声かけることで元気になることも多く、ぜひ取り組んでほしい。	■町内会で広報を1部配布する毎に町内会に対して8円の報奨金を提供しているが、運営が負担となっているという声を聞いているので、現在検討している。一声運動については、条例等で市民を縛ることはできないが、自分自身は取り組んでいきたい。	14	地域自治活動	事業の実施や見直しの参考とします。
10/16	5	■地域のコミュニティの単位が小さく、情報が地域間でうまく伝わっていない。市長が中心となり、情報が地域の中で循環するようにし、問題解決につなげてほしい。	■(意見なし)	14	地域自治活動	既に基本計画に盛り込まれています。
10/16	6	■北下浦は、自然に恵まれているが、観光資源は若山牧水しかない。地域に住んでいる人が、より誇れるように観光資源を地域外にアピールしてほしい。	■北下浦地域では、市の観光協会で地元の人々が中心となりウォーキングイベントを実施している。地域外への情報発信も重要であるが、まずは観光は地域の住民が楽しんでいるから、他地域へ波及していくことが望ましいと考えている。	11	集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/16	7	■外郭団体は113億円の借金があるといわれているが、年間どの程度予算を与えているのか。また、不要な部分があれば打ち切る必要がある。加えて、その動きを広報よこすかで知らせてほしい。	■113億の負債を抱えている土地の先行取得をする外郭団体である。しかし、現在ではその使命もほぼ果たしていると感じている。公表については、より市民に知ってもらう必要があると考えており、外郭団体白書を作成した。これは、横須賀市のホームページでも公表している。	15	財政	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/16	8	■民間の場合には初期投資を軽減するために委託を用いることが多い。横須賀市では、市民病院が委託されることだったが、初期投資は市が捻出しているため、メリットが薄いのではないか。	■病院は指定管理者制度を採用している。本市の市立病院の場合は、人件費がかさんでいたこともあり、経営形態を変えるに至った。また、民間経営に変えることによって、経営改善することができると考えている。	15	財政	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/16	9	■市役所自体を活性化していただきたい。	■市役所の職員は一生懸命であり、優秀な人が多いと感じている。今後は、職員が変えたかったのに否定されてしまった施策を吸い上げ、取り上げていきたいと考えている。同時に職員にはこれまで以上に頑張ってもらいたいと思っている。	16	その他	既に基本計画に盛り込まれています。
10/16	10	■雇用を確保する等、市の税収源を確保していただきたい。また、箱物行政の脱却と記述されており、それは達成していただきたい。	■税収源として企業誘致を考えている。しかし、横須賀市の課題としては、大きな土地がほとんど無く、YRP、長沢に少しある程度であるため、どのような企業に来ていただけるのかを検討している。	10	地域経済・雇用	既に基本計画に盛り込まれています。
10/16	11	■市議会が抵抗勢力になっているように感じる。	■市議会を抵抗勢力であると感じたことはない。市議会は議院内閣制ではないため、与党や野党はないという考えで取り組んでいる。	16	その他	意見として伺いました。
10/16	12	■広報よこすかに所信表明がかかれており、市長の考えが明確となった。今後も継続していただきたい。	■(意見なし)	16	その他	意見として伺いました。
10/16	13	■横須賀は自然に恵まれているが、近年山が切り崩されている地域がみられる。私有財産であるため、簡単に抑制することはできないかもしれないが、市ではどのような取り組みができるのか。	■指摘の通り、簡単に私有財産に対して入り込むことはできない。しかし、市では可能な限り自然を守る方策作りをすることを考えている。例えば、都市緑地法などの委任条例により土地所有者の固定資産税・相続税が減免できる仕組みや、小さい面積でも寄付ができるような方策を考えている。また、自然を守る市民活動などを応援していきたいと考えている。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。
10/16	14	■高齢化に伴い土地所有者が農業に従事できず、休耕田や耕作放棄が進んでいる。自然環境は市民の共有財産であるという意識で守ってもらいたい。	■自然は大切な共有財産だと感じている。市では休耕田や耕作放棄などが目立ってきている。しかし、市役所が取り組める施策は限られている。例えば、就農希望者とのマッチングも考えられるが、希望者が集まらないと達成することは難しいだろう。	1	自然環境	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。 【補足】 市では、市内全域で耕作放棄地を調査し、農業生産を向上することを目的として、農地として再活用する施策を行っております。 【農林水産課】
10/16	15	■自然とふれあうイベントは年齢別となっているが、高齢者と子供がつながれるような活動にしていもらいたい。	■自然とふれあうイベントについては、年齢分けされていることも多いが、観光協会では家族参加のイベントなど年齢を超えた取り組みもある。今後、このような活動を応援したいと思う。	1	自然環境	事業の実施や見直しの参考とします。
10/16	16	■大規模スーパーの影響で商店街がシャッター街化している。高齢化の進展にもない自動車に乗ることができなくなるため、商店街を活性化してもらいたい。	■大規模店舗は価格が安く、一概に悪いとはいえないが、商店街は地域の福祉という重要な役割を担っている。プレイバック商品券を商店街だけに使えるようにして復活させたいと考えているが、関係団体が多いことや財政を鑑みる必要があるため、実現するかどうかは約束できない。	10	地域経済・雇用	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/16	17	■市役所職員や議員はより地域とふれあうことで、地域をもっと知ってほしい。	■(意見なし)	16	その他	意見として伺いました。
10/16	18	■ISOマネジメントシステムを行政サービスに導入すればよいのではないか。	■ISOは顧客である市民の満足度の維持をするためによいが、維持するためのコストが非常に大きい。横須賀市では以前情報分野等でISO9001を導入していたが、コスト面で断念している。環境分野では市が独自に構築したYES(横須賀環境マネジメントシステム)を採用している。	16	その他	意見として伺いました。
10/16	19	■ISOマネジメントシステムを全国に先駆けて導入することによって、今後の国政に出馬する際に役立ててほしい。	■国政への気持ちはなく、任期を全うしたいと考えている。	16	その他	意見として伺いました。
10/17	1	■学校グラウンドの芝生化は良いと思うがどこまで進んでいるかわからない。予算や優先順位など、どのようなやり方で進めているのか。	■マニフェストでも小学校の校庭芝生化を打ち出しているが、やはり予算が必要であり来年度以降になる。モデル校を定めて進めるのが良いと考えている。なぜなら学校の受け入れ態勢が重要だからである。	9	学校教育	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/17	2	■久里浜は春になると山桜などの花がきれいだが、この森がなくなりつつある。これからなくなる部分が増えないようにお願いしたい。	■緑を守ることは大切だが私有財産の場合所有者それぞれの考えがあり、開発行為を完全には制御できない。緑豊かな土地の所有者がその土地を残していくには、固定資産税、相続税などの負担から守りにくい。市と契約して市民の立ち入りを認めたり、何十年保全することを約束すれば税軽減可能という法律もあるので活用したい。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。
10/17	3	■砂浜が失われている。構造物ができることで砂浜が失われ景観が悪化するので、川や海、砂浜や緑を守るという(スライドの)5-3-1の方向性に大いに賛成する。	■野比や久里浜などの砂浜がなくなると、市の土地が減り、横須賀らしい景観もなくなる。砂を戻す工夫について市として考えていきたい。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。
10/17	4	■ゴミ処理場の整備について、290億円かかるという話だが、もっとかけても良いので良いゴミ処理場をつくってほしい。今は取り残しが多いが、上等な設備をつくり処理ができれば、それもなくなり街がきれいになる。	■市議会で廃棄物処理の委員会が立ち上がり、施設のあり方についてこれから議論していくところ。金額は施設規模によるので、ごみの資源化や減量に市民も努力してほしい。	2	地球環境問題	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/17	5	■計画は市民の立場でつくってもらいたい。そのために、市の職員は住んでいる場所の町内会活動に積極的に参加してほしい。職員と市民が一体化して初めて、市民の立場で計画ができ、自治活動も活性化する。職員は、町内会に参加することで町の実態を把握し、日頃の仕事に活かしてほしい。	■市の職員に強制することはできないが、私も普段参加しているので、そういう姿勢を職員に率先して見せたい。行政センターの職員にももっと市民に近づいてほしいと思っている。そんな思いもあり、駅で広報誌を配布することをマニフェストで掲げている。この配布活動に行政センターの職員も参加してもらいたい。	14	地域自治活動	意見として伺いました。
10/17	6	■安全安心について最も懸念があるのが原子力空母であり、直下型地震が起きたら、周辺にガスタンク、ガス発電所などがあり、さらにその上には崖がある。崖が崩れたらどうするのか。原子力空母の一次・二次排水の修理をしているが、地震が起きて周囲のクレーンが倒れたらどうするのか。	■不安感を払拭するのも私の仕事。直下型地震などのリスクも認識しているが、横須賀市としてできることとできないことがあり、空母の存在は現実として受け止めざるを得ず、将来のリスクにどう対処するかが大きな課題である。国や米国大使に要望すべきこともあると思っているので、4年間の任期での活動を見ていただきたい。	6	防災・防犯	計画原案を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/17	7	■(スライドの)5-1-2で触れられている危機的な財政状況に対して、横須賀の強みを生かしてどうクリアするのかという長期のビジョンが見えない。10年で財政の危機をどう乗り越えるのか構想を示してほしい。その際、市民への要請もあるだろうことは理解している。	■財政については、任期中にどこまでということに関しては言えない。ただ、市民に財政状況がほとんど示されていないのが現状なので、それは基本計画とは別に財政白書のようなもので示していきたい。	15	財政	計画原案を策定する際の参考とします。
10/17	8	■自治基本条例づくりには大賛成。すぐにでも取りかかってほしい。条例づくりにはぜひ市民をたくさん参加させてほしい。	■地方自治法があるから横須賀市が存在しているのだが、この法律は国が定めたもので、私達が自分で存在を規定しているわけではない。しかし自治基本条例があれば、自分達で横須賀市のあり方を決められる。4年の任期の中で多くの方々と、横須賀市らしいものをつくりたいと考えている。ご協力をお願いしたい。	14	地域自治活動	計画原案を策定する際の参考とします。
10/17	9	■以前から要望しているのに行政センターやコミュニティセンターにエレベーターがでず不便である。福祉教育について、障害のある子どもにどう配慮するかをすべての学校で教えているわけではない。差別をなくすためにも学校で教えてほしい。	■障害のある方にも優しいまちづくりをしたい。物理的なものだけでなく心のバリアフリーも大切なので、学校教育にも取り組みたい。なお、久里浜行政センターには来年秋以降に耐震工事に合わせてエレベーターが設置される。	4	障害者福祉	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/17	10	■久里浜谷は地域活動が活発な地域で、私も障害福祉相談員をしているが、民生委員や社会福祉推進委員と違いあまり知られていない。	■地域の福祉活動は市役所にとってありがたいこと。ぜひ情報をいただきたい。ただし主体は市民だと考えている。	14	地域自治活動	意見として伺いました。
10/17	11	■横須賀市は不登校が全国でも多いと言われているが、原因を研究してほしい。	■不登校出現率は多く、中学校で5%。NPO法人の中に不登校やひきこもりの子等を支援する団体があり、連携を強めていきたい。原因は千差万別だと思う。出現率を下げるより、どれだけ学校に戻ってもらうかを目標に据える必要があると考える。	9	学校教育	質問事項と捉え市長が回答しました。 【補足】 不登校の原因はまさに千差万別であり、一人一人が抱えている課題はすべて違っています。そのため、本市では、スクールカウンセラーをはじめ、子どもたちの悩みに耳を傾ける相談員の配置や相談スペースの設置を進めています。このような取り組みが次第に実を結びつつある状況です。 【学校教育課】
10/17	12	■水と緑に親しめるまち横須賀に賛成。緑が減っているの、検討するとされている水と緑の条例にもこういう考えを入れてほしい。人口が減っているの、今から山を崩して家を作るということでもないだろう。	■緑が減っているのは事実だが、どれぐらい減っているかが把握していなかったことがもっと問題であり、今後調査するつもりである。市民一人ひとりの意識も大事なので、積極的に関わってほしい。	1	自然環境	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/17	13	■市議会中継で保育所待機児童40数名と言っていたが、これはフルタイムで働く女性の場合だけではないか。女性労働人口のうちフルタイムで働いている人はほんの一部。これ以外に派遣や生活のためパートに出ている人はたくさんいる。保育所自体はもちろんだがとりわけ病児保育の充実をお願いしたい。	■40数名は4月1日時点の数字で月を追うごとにこの数字は増えていく。新しい保育所をつくるのではなく、既存施設の定員を増やすことを検討している。うわまち病院で病児保育に取り組んでいるがベッドが足りない。課題として認識はしている。	8	子育て	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/17	14	■財政の赤字は減らす方向で、新政権のように予算が急に膨らまないようにしてほしい。	■ご指摘の通りと考えている。	15	財政	意見として伺いました。
10/17	15	■ごみ焼却場の熱エネルギーをもっと有効に使い、電力への転換やスパゾーンを整備するなど考えてはどうか。	■課題の一つとして検討していきたい。	2	地球環境問題	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/17	16	■引きこもりや心の問題、不登校について、市長が重視している人づくりの一環として注力してほしい。	■課題の一つとして検討していきたい。	9	学校教育	既に基本計画に盛り込まれています。
10/17	17	■ひったくり等の犯罪が久里浜などで増えている。人づくりと関連する。頑張してほしい。	■犯罪については警察や市役所だけに頼ってはだめだと思う。地域の人と一緒に防犯に取り組むことが大事だと思う。	6	防災・防犯	既に基本計画に盛り込まれています。
10/17	18	■マニフェストで美術館など箱物づくりは批判していたが、私は美術館には賛成。学生無料はやめ、多少お金を取るなどもっと運営を考えればよい。	■美術館は反対していたが、できてしまったものを壊そうとまでは言わない。しかし運営は赤字。それをできるだけ減らすためにも、多くの市民に来てもらえる工夫をしたい。	11	集客・定住	事業の実施や見直しの参考とします。
10/17	19	■自転車利用促進も良いと思うが、横須賀は狭い道や危険なところが多いので、こうした環境の整備を考えてほしい。	■横須賀を自転車で楽しめるまにしたいとも思っている。車と歩行者に対しては道路の整備が進んできたが、自転車については宙ぶらりんになりがち。サイクリングロードマップづくりなどを進めたい。	16	その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/17	20	■観光について、ハワイに行った時、真珠湾周遊が大変よいと感じた。横須賀の駅から船でいくつかの地点を周り観音崎あたりまで行くような周遊観光はどうか。馬堀海岸に来年温泉ができるそうだが、資金援助してほしい。	■観光については、まず市民のみなさんに楽しんでもらいたい。みなさんが友人、親戚、恋人、結婚相手などを連れてくるところまでいけば観光施策として成功するのではないかと。また、民間の方に土地をお貸しする形で温浴施設ができる。ぜひ楽しんでほしい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/17	21	■原子力空母の話に関係して、核シェルターのための予算を組んでほしい。	■原子力災害に対しては、ヨウ素剤が必要な人に届くよう検討する指示を出している。広報などで知らせたい。ただし、核シェルターは現実的でないように思える。屋内へ退避する方向性で考えて頂き、その訓練等も行いたい。	6	防災・防犯	意見として伺いました。
10/17	22	■人件費を削減していただきたい。市会議員の給料、退職金は多すぎる。	■市役所の人件費は確かに多く、歳出の3割以上を占めている。成果が反映されるような人事制度をつくりたい。市議会の議員数については市議会が決めるべきことである。	15	財政	意見として伺いました。
10/17	23	■美術館など余計な物をつくるなら、西部に図書館をつくってほしい。	■図書館を西部につくることは箱物としては難しいが、サテライトとして拠点を整備することで市民が気軽に利用できるようにしたい。	5	生きがい	意見として伺いました。
10/17	24	■25年前に新潟からこのまちに来たが、私の子どもはここで育ち教育を受けてきた。ふるさと横須賀に子どもたちが定着するような取組みを教育の中で行ってほしい。	■子どもにもふるさと横須賀と思ってもらうには、教育だけではなく、お祭りに参加したり、地元の高齢者のお話を聞く機会をつくったりという形で横須賀を愛する気持ちを育てられればと考えている。アイデアをいただきたい。	9	学校教育	計画原案を策定する際の参考とします。
10/17	25	■経済圏としては、横須賀は三浦半島の経済の中心だが、広域で三浦や葉山と連携すれば防災、ゴミ問題、水道などについても効率よい行政が可能ではないか。	■私も三浦半島はひとつだと思っている。ごみは三浦市と共同で処理する方向で取り組んでいる。水道、防災については広がりにくい部分もある。ただ、横須賀としてメッセージは発していきたい。	16	その他	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/17	26	■世界最大の軍事大国であるアメリカのオバマ大統領がノーベル平和賞を受賞した。米軍も、インド洋に派遣している自衛隊も基地を置いている横須賀は、世界の平和に貢献していることを自負してよいのではないかと。	■自衛隊基地と米軍基地は別問題として考えている。自衛隊には国防のみならず、住民としてきちんと納税していただき、地域の活動にもいろいろ貢献してもらっている。ご理解いただきたい。	16	その他	意見として伺いました。
10/17	27	■小学校の芝生化については、子どもが寝転んでもよいように、ゴルフ場のような農業を使つての維持管理はやめてほしい。公園の緑も同様であり、それで手入れに人手がかかる分は、失業対策などを活用してはどうか。	■できる限り農業を使わないようにしたい	16	その他	事業の実施や見直しの参考とします。
10/17	28	■この会場も市役所も薬品くさい。友人の中にはそれが理由で今日の参加を諦めた人もいる。公共施設なのだから、農業は最後の手段として使うようにしてほしい。図書館もくさい。	■建物のくん蒸は確かに定期的に行っている。衛生面上止むを得ない部分もあると思うが、できるだけ使わないように考えていきたい。	16	その他	意見として伺いました。
10/17	29	■子どもの携帯電話は頭をおかしくするし、いじめのきっかけになる。大阪のように条例で禁じてよいのではないかと。また、アレルギー過敏症は登校拒否の原因にもなる。	■(回答なし)	16	その他	意見として伺いました。
10/17	30	■60年以上住んでいるが、最近やっと横須賀を知る時間が持てるようになった。江戸末期には浦賀が日本一の港だったらしい。近所には三浦一族の数百年にわたる歴史あるまちもある。	■横須賀は歴史のあるまち。子どもの頃からそういうものに触れる機会があるとよい。	5	生きがい	意見として伺いました。
10/17	31	■生涯学習への支援が厳しいという話を良く聞かすが、市長の考えを聞きたい。	■予算がたくさんあればよいというものではないので、学習した内容を他の方に伝えていただいたり、公民館などで開催される講座に積極的に参加していただいたりと、効率的活用にご協力をお願いしたい。	5	生きがい	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/21	1	■地区内で光洋小学校や上の台中学校が廃校となる。地域の魅力を高めるという観点で託児所や保育所、福祉施設などを複合的に整備してはどうか。	■学校の跡地利用については、今回のご意見も含めて、車座のような雰囲気でも市民の皆さんと話し合いながら決定していきたい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。 【補足】 学校の跡地等の未利用地については、平成18年に「未利用地等の土地利用に関する取扱方針」を定め、庁内プロジェクトチームを設置して有効活用の検討をしています。有効活用の検討においては、新たに土地が必要となる事業との照会をしたのち、利用予定がなければ売却等の処理方針を検討していくこととなります。 【企画調整課】
10/21	2	■海岸沿いのプロムナードの工事が進んでいないようであるが、進捗状況を教えていただきたい。	■国の補助金等を受けながら進めているところである。一気に進まない面もあるが、計画に従って終了させたいと思っている。	11	集客・定住	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/21	3	■住友重機浦賀造船所跡地がそのまま放置されているが、浦賀の魅力を高めるという観点からも大きな問題であると思う。	■横須賀市には浦賀文化村構想という計画を持っているが、造船所の跡地については企業の私有地であるため、住友重機と地域の住民と市の3者が意見交換していくことが重要だと認識している。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/21	4	■商店街としてはこの港に観光船を誘致できないかと考えている。	■三笠公園と猿島を結んでいる企業に、感触を当たってみたい。しかし積極的な誘致という面では地域住民の声が重要であるし、積極的に利用するという意欲が重要だと思う。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/21	5	■横須賀の観光の目玉になるものは何だろうか。観光振興のためには、「歴史のまち」を楽しめるような、往来できる仕組みが必要ではないか。	■一つの資源は歴史遺産でありそのほかにも自然資源などがあるが、点在していることが問題だと認識している。まずは市民の皆さんにその魅力を知っていただき、口コミで人を呼び込んでいきたい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/21	6	■当地域には様々な観光資源があるが大型バスの駐車場がないため光洋小学校の跡地を利用してはどうか。	■大型バスの駐車場については横須賀市全体の問題である。積極的に取り組みを進めたい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/21	7	■住友重機浦賀造船所跡地の問題は、市長が中心となって交渉を進めて活用していくと行ったことが出来ないだろうか。	■十分な信頼関係を築き上げた上で機会を見つけて話をしていきたい。	11	集客・定住	意見として伺いました。
10/21	8	■地域自治活動の活性化の中で、行政センターは、今後市と市民が協力関係を築くことが出来るような施設として、身近な地域に根付いて行かなくてはいけないのではないか。	■行政センターについては、ご指摘の通り、職員が地域に積極的に関わっていくような体制にしたいと思う。今後、行政サービスの提供よりは市民活動の支援を重視した施設としたい。	14	地域自治活動	計画原案を策定する際の参考とします。
10/21	9	■危機的な財政状況との説明があったが、コミュニティセンターなどを営業活動等で無料で利用している例もある。市民の受益者負担を検討すべきではないか。	■受益者負担については市民の理解も必要な内容であるので長い視点で検討していきたい。	15	財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/21	10	■コミュニティセンターのボランティアスタッフとして活動しているが、予算不足で備品の購入が出来ない。	■備品については統廃合される学校のをリサイクルするなど、今ある物を有効に活用する仕組みなども検討したい。	14	地域自治活動	意見として伺いました。
10/21	11	■市役所の駐車場はすぐに一杯となる。	■市役所の駐車場は時間帯によって業者が利用する場合などもありご迷惑をおかけするが、ご理解いただきたい。	16	その他	意見として伺いました。
10/21	12	■今後無駄な施設はつくらないという方向性でよいか。	■ごみ処理施設を除いて、市単独で新規施設を建設する余裕はないと考えており、現在全ての施設についてストップをかけている。むしろ、今ある施設を有効に使う方向性を大事にしたい。	15	財政	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/21	13	■公園について、公約にあった果実園だけではなく、高齢者も利用できるような遊具を導入することも検討していただきたい。	■公園が地域の憩いの場となるようにしたい。遊具も更新のタイミングがあるため、その中でご意見をいただき、各地域にあった公園づくりを進めたい。	3	高齢者福祉	事業の実施や見直しの参考とします。 【補足】 公園遊具の新設は、地域の方々の意見等をできる限り反映し、設置しております。高齢者の方も気軽に利用できる健康遊具も毎年2.3基ですが設置しており、地域の方々にも好評です。今後も安全かつ皆様に喜ばれる公園施設を設置するよう心がけてまいります。 【公園建設課】
10/21	14	■光洋小学校の跡地について、若い人が安心して働ける環境をつくるための子育てから介護までを支援する総合福祉施設を設置してはどうか。	■跡地利用については、いろいろな意見を聞きながら決定したい。なお、福祉施設については担い手についての問題も検討する必要があると思う。	10	地域経済・雇用	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/21	15	■学童保育は子どもたちのふれあいや遊びの場や、子どもたちが安心して遊ぶことの出来る場としても有効である。しかし、親が自主的に運営している状況であり、いろいろな困難があり、市としての支援を要望したい。	■学童保育の異議については、自分も学童を利用した経験もあり、良く理解している。ただし、限られた予算の中での取組であることはご理解いただきたい。	8	子育て	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/21	16	■市長の説明内容は教育には技能の習得や学力(instruction)に偏っているように思うが、ではなくしつけなど(education)も必要であることを認識していただきたい。	■あくまでも私の意見であり、市民の皆様のご意見をお聞きしたいと思っている。参考になるご意見をありがとうございます。	9	学校教育	計画原案を策定する際の参考とします。
10/21	17	■横須賀の活性化や元気の出るまちづくりといった具体的な内容として何をお考えか。	■地域経済の活性化、中でも働く場所の確保が重要であると考えている。企業誘致についてはトップセールスを積極的に行っていきたい。	10	地域経済・雇用	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/21	18	■横須賀市の様々な事業について優先順位を明確にするのと同時に、どうしてその優先順位になったのかについて市民が理解し納得できる形で示してほしい。	■基本計画づくりはその一つである。一方で、施設整備については、ファシリティマネジメントの考え方を参考にしながら、限られたメンテナンス費用をどのように割り振るかについて検討し、メンテナンスや施設更新を行っていきたい。	16	その他	計画原案を策定する際の参考とします。
10/22	1	■横須賀のひとつの生き方として、無農薬野菜の生産の普及促進もあり得る。生産支援に向け、たとえば個人の野菜農園等での生産に対する助成制度の設置などを検討し、基本計画に盛り込んでいただきたい。	■無農薬や有機栽培に取り組む団体に補助等を出していた時期もあった。しかし、現在は、販路を自ら確保し自立していくことが重要な時期に来ていると考える。そのために、市の補助の視点ではなく、市民のみなさんがどういった野菜を食べたいかという消費者意識改革が必要ではないかと思う。消費者の立場として出来ることをぜひ考えていきたい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/22	2	■地方自治法第1条にもあるように、あくまでも福祉を中心とした計画に取り組んでいただきたい。横須賀の老人福祉施設は、市営がひとつもない。	■市営の老人福祉施設は財政的には厳しいが、社会福祉法人等をお願いして支援をしていきたいと考えている。	3	高齢者福祉	意見として伺いました。
10/22	3	■借金財政について何とかして頂きたい。これ以上私たちの税金を箱物の建設に使わないでほしい。	■市議会でも明言したが、横須賀市独自の新たな建設は一端ストップする方向で話を進めている。ただ、美術館など建てしまったものは、市民の皆様に喜んで頂けるように有効に利用し、支出も減らせる観点で考えていきたい。	15	財政	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/22	4	■横須賀市全体でも文化財は多いが、ここ大津は、文化財も多く、歴史ある町である。他方遠浅で美しい大津の海岸は、埋め立てられ、山は崩されてしまった。今後はむやみに壊したりせず、文化潤うまちづくりに、横須賀市全体として取り組んでいただきたい。	■(回答なし)	11	集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。
10/22	5	■借金財政について、立て直しのポイントは市に検討いただくとして、我々市民もこの問題に対して何が出来るのかという発想がないと行政まかせではうまくいかない。	■ご指摘のとおり、一人一人に厳しい行財政の実情を意識して頂きたいと思う。それぞれがゴミの量を少し減らすだけで、燃やすゴミの量が減り、290億円といわれるゴミ焼却施設建設費が抑えられる。年間のランニングコストも削減でき、財政負担が減る。色々な方法で意識して頂ければと思っている。	15	財政	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/22	6	■これまで、ハケ岳などで植生調査などのボランティア活動に取り組んできたが、横須賀市内に住んでいるので、遠くでやるのではなく、何か市内にフィールドをさがして、市民の皆さんと活動していきたい。	■市内でも猿島のガイド養成なども、きちんと講座で行って頂いている。是非、横須賀市内の情報にもアンテナを張って頂ければと思っている。	13	市民参加	意見として伺いました。
10/22	7	■平成9～37年を計画期間とする基本構想については、どのようにお考えか。また基本計画についても今後のお考えをお聞きしたい。	■基本構想は、当初、多くの市民の皆さんと議会を巻き込んで作られたものであり、大きな横須賀のまちづくりのビジョンを示しているものであるため、尊重していきたい。個別の施設の是非については、今後は、基本計画下に示される個別の実施計画で検討することとしたい。	16	その他	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/22	8	■借金は毎年増やさないように市として努力していると聞いているが、減らすための具体的な計画がないと聞いた。また、財政面で厳しい状況にありながら、市は、大津のテニスコートの大規模な改修を行った翌年に、全面人工芝化するなど行っている。どのようにお考えか。	■これまで横須賀市の財政が今後どうなっていくのかという基本的な計画すら市民の方に公表することがなかった。総合計画の実施計画(分野別)について、ぜひ財政計画を作り、みなさんに知って頂きたい。テニスコートの件は確認させて頂きたい。	15	財政	質問事項と捉え回答します。 【回答】 大津公園テニスコートは、平成19年12月から平成20年3月にかけて、クレーコートから砂入り人工芝コートへの改修工事を行いました。市民の方よりご意見いただいた平成19年1月から2月かけて行った作業は、クレーコートの整地作業やラインテープの張り替え等、2年に1度定期的に行っている作業でありました。この作業は、改修工事が開始される約9ヶ月の間に、コート状態で利用者にご迷惑をお掛けしないために必要な作業でありました。 【緑地管理課】
10/22	9	■若い市長となったのだから、1～2年先ではなく、10～20年先、地球の子供たちの未来を見据えたものでなくてはならない。その中で、水と緑を大切に、環境をよくしていけば、皆さんも元気でいられる。福祉の経費削減にもつながる。ただし(借金財政の中で)何もやらないということもひとつの政策である。	■市役所として法定で定められた業務もあるため、何もやらないのではなく、市民の皆さんの幸せを考え、福祉にも取り組みたい。全体のバランスをみながら、頑張りたい。	16	その他	既に基本計画に盛り込まれています。
10/22	10	■公共の予約システムが導入され、ウェブから、多様な主体の予約が可能となった一方で、1つのグループが複数の活動名を使い予約を入れているといった問題がある。予約システムの評価・見直しを実施して頂くともに、システム導入前に実施されていた行政によるチェック機能の導入など検討して頂きたい。	■色々な方が家に閉じこもらず外出して頂くことも大切とされている。市の公共予約システムについては色々なご意見を聞き改善していきたい。不正利用については自粛して頂く必要があると考える。かつてチェック機能があったのであれば、システムへの導入も検討もしたい。	16	その他	事業の実施や見直しの参考とします。 【補足】 公共施設予約システムは市内38施設で利用でき、インターネットや携帯電話からの予約は全体の約9割を占め、多くの市民に利用されています。今後、利用者アンケート等で多くの方からご意見をいただき、更なるサービスの向上に努めていきます。不正な登録の対策については、団体登録受付時の審査強化を図るとともに、各団体の利用実態の把握に努め、不正利用が疑われる場合は調査を行い、適宜、注意・指導を行ってまいります。 【情報政策課】
10/22	11	■市民が利用可能な施設を新設すべきでないと思うが、一方で、学校の教室や、公共の建物で空いたスペースがあるのではないかと。将来の年齢階層別人口分布などをふまえ、計画を策定して頂き、利用可能なスペースを市民に活用させてほしい。	■財政調整基金に関しては厳しい状況にある。このほか、市民病院や下水道など、横須賀市は様々なお金を拠出しているため、これらも含めた市の財政計画を策定し、市民の皆さんにお示ししたい。施設の有効利用については、学校だけではなくと考えている。また、学校の図書室など、もっと地域に開放されて良い。小中学校には公共施設としての利用を改めて呼びかけてみたい。	16	その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/22	12	■廃棄物処理施設の建て替えに関連し、生ゴミのバイオマス化の計画について今後の方針や実現可能性についてどのようにしているのか。	■本件については、生ゴミのバイオマス化を前提として進めたいと考えている。また、市議会特別委員会が立ち上がり、ゼロベースで検討する体制が、議会と市役所にはできあがっている。この検討プロセスの中で皆さんから色々なご意見を頂戴していきたい。	2	地球環境問題	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/22	13	■廃棄物処理施設の計画など、計画を担当した市職員(技術職)が建設段階で異動してしまうことが多い。特に技術職に関しては、自身が計画を担当した施策に関し、責任持って事業実施にあたることができるような人事が必要なのではないか。		16	その他	意見として伺いました。
10/22	14	■重症心身障害児が安心して暮らせる施設の整備をお願いしたい。また、整備にあたっては医療機関との連携が不可欠であり、そのためには市の意思決定が重要である。	■マニフェストにも、平成23年の、着手と記載した。実現には、担い手の問題が大きなハードルとしてあるという点は、ご認識のとおりである。また、市単独ではハードルが高い。医療機関とセッというお話については、長期の入所施設は分けて考えた方が実は取れるのではないか。	4	障害者福祉	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/22	15	■地域作業所やヘルパーなど、地域の福祉の担い手が不足している。また、福祉分野は、給料等の待遇面が悪いため、職安などで常勤を募集しても、人材を確保できない。若い方を中心に、横須賀市内でやり甲斐のある仕事に就いて頂き、適正な所得を得て、税金等を支払い、市全体が豊かになるという地域の循環を考えてほしい。	■福祉の現場の待遇面の問題については認識しているが、単価の設定等は、市として扶助費に回す全体の中で勘案しているのご認識頂きたい。	10	地域経済・雇用	意見として伺いました。
10/22	16	■ヴェルクに整備されているスポーツ施設では、機器の大半が壊れており使えない。地域の人が身近に使える施設はきちんと使えるようにして頂きたい。	■施設の問題については、確認をしたい。	16	その他	事業の実施や見直しの参考とします。 【補足】 ヴェルクのトレーニング室の機器については、昨年度にエアロバイクが故障し修理不能となったため、本年11月に新しいものを購入いたしました。機器の点検については年1回の業者委託による定期点検と管理者による日常的な動作確認により管理しております。直近では平成21年9月17日に定期点検を行いワイヤー・グリップゴムの交換をおこないました。機器の大半が壊れており使えないという状態は確認できませんでした。 【商工振興課】
10/22	17	■行政は透明性が重要である。アメリカの地方自治では透明性が高いと聞いている。日本の財政白書はアバウトで市民にはわかりにくいので、是非市長の施策に取り入れて頂きたい。	■(回答なし)	15	財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/22	18	■障害を持つ方も車座会議に出席できればもっと多くの方の意見を取り入れることができる。しかし、大津の行政センターは手狭で老朽化している。	■(回答なし)	14	地域自治活動	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/22	19	■横須賀市の歳入に関連し、市内企業も生き残りをかけて頑張っている。市の公共事業は大手が受けてしまうため、市の事業に関しては、市内の子・孫請けを使って頂くことができるようにして頂きたい。	■(回答なし)	10	地域経済・雇用	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。 【補足】 5億円以上の共同企業体入札(混合入札)において、市内業者以外の準市内・市外業者が単体で落札した場合は、下請発注金額の内40%以上を市内業者に発注するよう義務を課すことにより、市内業者の受注機会の拡大に務めております。 また、市内業者が元請として受注した際には、「下請負者を使用する場合には、本市登録業者等市内所在の企業を優先的に選定するように配慮すること。」を条件として契約を締結しています。 【契約課】
10/26	1	■横須賀市では禁煙地帯が設けられているが、地方税収入もあるため、決定する前に財政部・健康福祉部・環境部・市民部市民生活課などが話し合って禁煙地帯の方針について協議するべきである。	■横須賀市として、喫煙者にたばこを禁止することは難しいと考えているが、受動喫煙は避けたく、加えてポイ捨てに関してたばこに限らず禁止したい。	16	その他	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/26	2	■横須賀市は水と緑が豊かであるが、堀の内周辺部等をはじめ、山が削られている。	■守ることができる緑を守りたいとは考えているが、一方で私有財産であるため、守ることができない緑があることも確かである。横須賀市としては、都市緑地法などを活用して、野山に手をつけなければ固定資産税や相続税を減免する措置を考えていきたい。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。
10/26	3	■二葉の地域に老人ホームを造るために造成されている地域があったが、現在市役所の地図をみると、宅地造成中となっている。よく現状を認識していただき、どのように対策していくのか考えていただきたい。	■個別のケースについては把握していないが、一度開発許可が出ると、所有者が倒産等で変わってしまっても、権利を転売することによって事業を継続することが可能となっている。市として何ができるのかについては、現在考えているが、国の制度を変える等多くのハードルがあり、市民からも国に対して訴えかけることもお願いしたい。また、横須賀市では特定建築等行為条例があり、地域の住民との話し合いの機会を持つことができる。具体的な話があれば、都市部に問い合わせさせていただきたい。	16	その他	質問事項と捉え市長が回答しました。 【回答】 お申出のありました造成工事は、有料老人ホーム及びクリニックセンターを建築する目的で平成14年に開発許可を取得し事業を着手いたしましたが、事業者側の都合により平成17年10月より工事が中断しております。しかし、最近になり新たな土地所有者より当該開発行為を継承し、開発行為を再開したいとの相談を受けておりますので、工事が始まることとなりましたら、地域住民の皆様にご説明をするよう開発行為者を指導いたします。なお、事業承継に伴い計画内容に大きな変更が生じた場合には、事業者は本市条例に基づき、関係する地域住民の皆様へ新たな計画の説明が必要となりますので合わせてお伝えします。 【開発指導課・長寿社会課】
10/26	4	■平成町やYRPでは道が広く、看板がでていない。一方、横須賀中央では看板や電線が多く、あまりきれいな街並みとはいえない。横須賀市として、壁の色を統一したり、看板には派手な色を辞める等の取り組みも考えられるため、今後の観光を振興することも踏まえて、市の街並み全体の雰囲気をよくしていただきたい。	■まちづくりにおいて景観が大きなポイントとなることは私も認識している。近年景観法もでき、景観の改善について取り組むことができると考えている。但し、壁の色を統一するにせよ、横須賀市にはどのような色がふさわしいのかは、検討する必要があるだろう。また、横須賀市には景観審議会があり、市民委員も募集しているため、もし可能であれば参加していただきたい。	11	集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。
10/26	5	■高齢になり、以前よりも道でつまづいてしまう。特にガス管や水道工事の跡は、工事の数後に段差が発生し、つまづきやすい。道路工事の業者に工事が完了した2～3年後に再度点検させる必要があるのではないか。	■工事の数後に段差ができ、つまづきやすくなることは私も経験がある。しかし、道路工事の業者との契約が何年契約となっているのかは現時点では把握できていないため、今後の参考とさせていただきます。	16	その他	意見として伺いました。 【補足】 横須賀市では、工事箇所へ瑕疵(かし)が見つかった場合は、目的物の引渡し後1年(コンクリート造等の建物又は土木工作物等の建設工事は2年、コンクリート以外の舗装工事は6月)以内に補修を又は補修に変わる損害賠償をすることができる。ただし、その瑕疵(かし)が故意又は重大な過失による場合はその請求の期間は10年という内容の契約を全ての工事において当初に締結しております。 ただし工事終了後に点検を義務付ける条項はなく、点検を当該業者に実施させるには、当初の工事契約とは別の契約を締結し、代金を支払う必要があります。 【契約課】
10/26	6	■平作川にて不法係留が増えている。近年では、横浜市では不法係留を全て撤去しており、横須賀市でも2次災害につながる可能性があるため、撤去していただきたい。	■河川は県の管理となっており、不法係留についても、神奈川県下の市町村に対して順番に対策を行っている。市として何ができるのかを考えると、今後県が不法係留を取り締まることに伴い、久里浜湾や浦賀湾に移動してくる可能性もあるため、市としては法的なプロセスを踏みながらも強制撤去ができる仕組みを検討していきたいと考えている。	6	防災・防犯	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/26	7	■財政的な危機をうけて、財政計画について全戸配布となっており、期待していることも多い。特にシーリングに対して5%の係数をかけるところについては、非常に興味深い。	■財政計画については市民にとってわかりやすいものを作りたいと考えている。	15	財政	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足
10/26	8	■基本計画については、都市政策研究所のホームページに行かないとみることができないが、市のトップページからも簡単にみられるようにしていただきたい。	■(回答なし)	16 その他	事業の実施や見直しの参考とします。 【回答】 ご指摘のとおり、本市ホームページのトップページから閲覧できるように変更しました。 市政の方針を示す基本計画については、今後とも市民の皆様に積極的にお知らせして、様々なご意見をいただきたいと考えています。 【企画調整課(都市政策研究所)】
10/26	9	■横須賀市でも見直すといわれているが具体的な方法はみえてきていない。現在、国や市町村において事業仕分けなど、市民にとってわかりやすい方法を示してほしい。	■事業仕分けについては興味深い手法だと考えており、実施計画の策定のタイミングで参考にしたいと考えている。しかし、事業仕分けがどの事務事業について確認すべきなのか、議会の議決が得られるか、横須賀市になじむのか等を検討するべき項目もある。	16 その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/26	10	■地域経済の活性化について雇用の場所の充実とあるが、横須賀市でも働いている人が安心して働けるようにしていただきたい。近年の社会的な情勢を受けて、追浜の工場でも大量に派遣切りが行われ、市に要望をしたところ、わずか11人の募集でかつ時給は770円で、2008年2～3月の間しか雇用を保障してくれなかったため、残念であった。	■内部で検討した結果、11人という結果であったのと思われる。現在でも補正予算でゴミを仕分けるための労働者を雇用することを議決した。今後ともセーフティネットについては考えていきたいが、仕事をしていない人に対してお金を渡すことはできないため、具体的な方策があれば提案していただきたい。	10 地域経済・雇用	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/26	11	■神奈川県が労働相談の窓口を廃止する検討を行っている。政令市と比べて横須賀市は労働相談の場所が不足しており、県による窓口も必要である。横須賀市では反対してくれているが、今後とも継続的に訴えていただきたい。	■先日、三浦半島の市町村が協力して要望書を提出してきた。今後とも継続的に訴えかけていきたいと考えている。	16 その他	意見として伺いました。
10/26	12	■原子力空母の政策については非常に信頼している。市民の財産を守ることや、今後の条例の制定について頑張っていたきたい。	■以前より原子力空母の来航には反対してきたが、もし決まったのであれば、防災訓練等の万全の準備が必要だと感じている。	6 防災・防犯	計画原案を策定する際の参考とします。
10/26	13	■ハコモノを禁止すると述べているが、道路は継続的に造るといわれている。人口が減少していくなかで道路は必要であるのか。	■道路については防災や混雑状況を踏まえると戦略的に造る必要がある。但し、都市計画道路の中には不必要なものもあるため、見直す必要もあると考えている。	12 コンパクトシティ	意見として伺いました。
10/26	14	■人口が増えるという予測のもとに流通業務拠点やY-HEART計画などが挙げられている。人口が増えるのであれば、市街化区域にするように、減少していれば市街化調整区域にするという逆線引きも必要ではないか。	■流通業務拠点については所有者である西武鉄道がやめると述べている。今後、どのような土地利用が望ましいかは都市計画審議会の他にも庁内でも検討する必要があるだろう。但し、Y-HEARTについては、中断することにはなっていないため、今後の事業計画を見守る必要がある。	16 その他	意見として伺いました。
10/26	15	■これからの事業見直しにあたり、「共利・共生」を考えていただきたい。「偏利・偏栄」があると、市や市民にとっても不利益が被られるのではないか。	■「共利・共生」とは初めて聞いたが、重要な視点だと感じた。例えば、自然を守ることは「共利・共生」となるとされるし、一方でハコモノは利用者にとって大きな利益があるが、利用しない人もおり、「偏利・偏栄」と思われる。今後100年のうちに、大きな施設を全く造らないことはないが、現行の計画を一度ストップすることで見直していきたい。	16 その他	計画原案を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足
10/26	16	■横須賀市の財政が逼迫しているとのことだったが、負債をいかにしてクリアするのか方法を明らかにし、目標を設定し、横須賀市でもPDCAを回していただきたい	■財政赤字については在任中の4年間で半分にすることは難しいかもしれない、ゴミ焼却炉の立て替えをすることでより借金が増える可能性もある。財政の目標額については、市長だけで決めることも難しいため、目標額についてもまだ出ていない。しかし、将来的には財政状況もホームページでもわかるようにし、財政計画を全戸配布することで市民にもPDCAのサイクルに加わっていただきたいと考えている。	15 財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/26	17	■PDCAについては多くの手法があり、導入の際には様々な手段を検討していただきたい。また、横須賀市内でも呼びかければ、経験者がボランティアで知識を提供してくれるのではないかな。	■従来より、予算を策定する段階のそれぞれについて、詳細に調整しているが、横須賀市内でもPDCAは行われている。しかし、従来の方法では事業の目標値や効果などを評価しておらず、PDCAのサイクルが市民に見える形ではなかったため、ここについては中期的に考えていきたい。	16 その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/26	18	■財政が厳しいときには支出を減らすか、収入を増やす方向性を見いだす必要があるが、収入を増やす方策も考えていただきたい。例えば、観光による振興施策はどうか。現在でも、米軍基地の開放の際には、多くの他地域の人が来訪している。これに加えて、水産物・農産物などをもう1つのイメージとして定着させることはできないかな。	■現在、私自身が観光のセールスマンとして市外の人にあうたびにリーフレットで横須賀市を宣伝している。また、観光においては、商品の企画力や開発力も重要であり、これらについてのアイデアを市民からいただきたいと考えている。	11 集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。
10/26	19	■大学や高校の総合学習の中で、少なくとも1日を使ってボランティアを体験していただきたい。	■ボランティアを若いうちから体験することは大切だと思う。一緒に考えていきたい点としては、各学校が総合学習の時間を考えている上で、全市的に取り組むためにはどうしたらよいか、意見をいただきたい。	9 学校教育	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/27	1	■直接民主主義の手段として、横須賀市で住民投票条例が制定される可能性があるかお聞きしたい。	■市政は、市長、市議会の二元代表制が基本だが、2つの代表を補完する意味で住民投票も必要と考えられる。ただし、住民投票によって検討すべきテーマとして何があるかも検討する必要がある。	14 地域自治活動	計画原案を策定する際の参考とします。
10/27	2	■市議会議員から市長になり、できるようになったこと、逆にできなくなったことをお聞きしたい。	■前者は、予算を作ることができるようになったこと、後者は、自由に発言がしにくくなったことが挙げられる。	16 その他	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/27	3	■市全体の人口減少を受け、今後、人口を増やしていくためのビジョンをお聞きしたい。前市長は企業誘致を推進すると回答した。	■そもそも人口増加ではなく人口減少を前提とした施設・計画づくりを進める方法と、人口増加を目的に企業誘致に際して、福祉の充実や地価の安さ、都心までのアクセスの良さなどの都市イメージを積極的にPRする方法の2つが考えられる。後者の取り組みには、トップセールスが重要である。	11 集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。
10/27	4	■財政白書の発行予定があると聞いているが、年2回ほど発行してほしい。広報よこすかを積極的に活用して、市民に財政状況や財政危機の解決策をわかりやすく説明してもらいたい。	■市の財政状況がどの程度悪いのかわかる資料を可能であれば全戸配布してお知らせしたい。広報よこすかと財政白書は補完的な関係になるとよい。財政問題に完全な解決策はなく、市民の皆さんも一緒に考えてもらいたい。	15 財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/27	5	■市の各部署の幹部から、各部署の抱える問題や解決の方向性について直接話を聞く機会がない。	■市の幹部の情報発信について、他市では部長ブログなどの取り組みもみられる。本市でも意欲的に取り組んでいきたい。	16 その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足
10/27	6	■財政危機宣言を発する前に、もう少し財政の現状や取り組みの必要性について説明してほしい。	■財政危機宣言に関して特段宣言の基準はなく、また、宣言によって効果が出る訳でもない。ゴミの排出量削減や健康維持など、財政問題の解決に向けて市民一人ひとりが取り組めることもあるので協力をお願いしたい。	15 財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/27	7	■急傾斜地で行われている県の工事の影響で、ホテルが棲む川が元に戻らなくなるのではないかと。市から県に工事の変更をお願いしてほしい。	■逸見地区は急傾斜が多く、県が斜面が崩れないよう多くの工事を行っている。土地所有者の意向が重要であるため工事を辞めさせることは難しいと思われるが、変更の余地がどの程度あるか県に確認してみたい。	1 自然環境	意見として伺いました。 【補足】 県ではホテルの生育環境に配慮した工事とするよう技術的な検証を行いたいと考えており、また緑化保全に関しても、市と共同して地権者に積極的に働きかけていますが、土地の維持管理は地権者が行うものですので、草刈等を含めた手間を考え、植生の保存を望まれない場合が多くあります。完成済み部分の壁面緑化についても同様ですが、県では土地所有者のご意見も伺った上で、工法を検討していきたいと考えていると聞いております。 【傾斜地保全課】
10/27	8	■逸見駅にはエレベーターもエスカレーターもなく、またその計画すらない。このような駅にどうして人が新しく住むのか。金沢文庫で乗り換えずに横浜・東京に直接アクセスできる電車を運行してほしい。	■要望の趣旨はとも理解できる。京浜急行を動かすためにも是非一緒に声を上げてもらいたい。	4 障害者福祉	意見として伺いました。
10/27	9	■横須賀市の財政状況は県内でも三浦市に次いで悪い。市議会議員の数を半分に減らすべきである。	■議員や職員の数減らせば財政問題が解決するかどうかと一概にそうは言えない。議員の数は議員自らが決めることであり、職員の給与についても一律的なカットは考えていない。	15 財政	意見として伺いました。
10/27	10	■武は横須賀中央と比べると交通の便が悪い。都心から1時間で通えるようになれば人は住む。	■交通の便を高めるためにはバスの運行や道路整備などが想定される。市では、現在、渋滞緩和や市外から人を呼び込むため、都市計画道路の戦略的な見直しを行っており、今年度末に公表予定である。それまでにパブリックコメントも行う予定なので、是非ご意見を頂きたい。	11 集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/27	11	■横須賀中央や汐入などの京急沿線地域の基盤整備には力が入っているが、相模湾よりの地域には比較的力量が入られていないのではないかと。	■今回の車座会議のように、各地域の住民の意見を聞きながら、横須賀全体のまちづくりに取り組んでいきたい。	12 コンパクトシティ	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/27	12	■自転車に乗っていると、路上駐車などにより危険を感じることが多い。自転車だけでなく、バイク、歩行者、車も安全に移動できるまちを目指してほしい。路上駐車の取締りなどお金をかけずとも運用ペースでできることもある。また、そうすることで、自転車利用や徒歩が促進される。	■横須賀市は、街並みも自然も豊かなので自転車を活かしたまちづくりを考えていきたい。道路は車だけのものではなく、自転車、歩行者、皆にとって安全な道路であってほしい。また、交通弱者や歩行者に優しいまちを目指したい。	16 その他	既に基本計画に盛り込まれています。
10/27	13	■国道16号の交通渋滞により、勤務先から横浜方面に帰宅するのに時間がかかるため、横須賀市から横浜市へ得意先の流出がみられる。国道16号を通勤に便利にしてほしい。	■青信号を出す時間の調整(現示)により渋滞が解消されている交差点もある。渋滞箇所には様々な工夫を取り入れてもらうようお願いしたい。	16 その他	既に基本計画に盛り込まれています。 【補足】 国道16号の渋滞緩和については、道路管理者である国の対応となり、また、信号の調整(現示)については、交通管理者である警察の対応となりますが、市からも実現可能な対策の検討、実施について、国や所轄警察署に要望を行うとともに、調整を図ってまいります。 【交通計画課】
10/27	14	■横須賀中央駅は、通勤時間帯、乗車もできないほど混雑するので、始発電車を運行してほしい。また、武の人も通勤に便利になるよう、逸見駅までのバスを運行してほしい。	■横須賀中央駅始発電車や武と逸見をつなぐバスの運行は、興味深い発想である。ただし、事業主体の京浜急行側の需要予測もあると思うので、市役所だけでなく、皆さんも声を上げて協力してほしい。	16 その他	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/27	15	■急傾斜の工事地で、雨が降ると下に岩が落ちる危険な箇所がある。私有地のため、市できちんと指導してほしい。	■横須賀はがけ地が多いが、これらの土地は私有地であることが多い。このため、所有者の協力により、防災工事を行うことができる側面もある。目安箱にも引き続き意見してほしい。	6	防災・防犯	意見として伺いました。
10/27	16	■横須賀中央駅のロータリーや国道16号への出口付近、西友前などに多くのタクシーが停車し、片側車線をつぶしている。交通事故や渋滞の原因にもなるので対応を検討してもらいたい。	■交通不便地域に住んでいる人からはタクシーが捕まらないという意見もあり、賛否両論ある課題である。	16	その他	意見として伺いました。
10/28	1	■長浦港の箱崎町に米軍の航空燃料と船の燃料のタンクが37基ある。古老の話では関東大震災の時にあのタンクが火災を起こしたらしい。マグニチュード7ぐらいの直下型地震の時、あのタンクは大丈夫なのか。米軍のタンクに横須賀市は口を出せるのか。鶴見の貯油設備は横浜市がHPで米軍とのやり取りの経過をちゃんと公開している。横須賀市のHPは統計だけで経過が無い。	■箱崎町の貯油施設に限らず、米軍があそこにいるというのは横須賀市にとって一定の負担感がある。市としては国に対してちゃんとした見返りを求めていくという事が1つと、市民の不安を取り除く努力をしなければと思っています。米軍とのやり取りの経過をHPで示していくことは考えていきたい。	6	防災・防犯	計画原案を策定する際の参考とします。 【補足】 本市のホームページ「横須賀と基地」の中では、昭和35年11月以降の関係機関への市の対応(要望、要請等)等を時系列で平成20年10月までを掲載しております。 【基地対策課】
10/28	2	■横須賀の発展には雇用対策が一番。雇用が無ければ経済が生まれず、お金が生まれず、人が集まらない。	■地域経済の活性化では人口減の話も申し上げたが、企業誘致が大事なポイントだと思っている。待っていれば来ると思っているわけではないので、前任市長の施策だが新規立地大企業への税制優遇や市民を雇用すれば奨励金を出すなどの政策を出していた。これは引き継いでいきたい。市役所の一人のセールスマンとしてトップセールスをしていきたい。	10	地域経済・雇用	既に基本計画に盛り込まれています。
10/28	3	■高度な教育を行う、横須賀に行く子供達がとても勉強が好きになるよ、芸術面の能力も伸びるよ、というような学校を作ってもらいたい。	■学校教育は充実しなければいけないという思いがある一方で、文部科学省の学習指導要領に従い学校の先生は授業をしなければいけないので市として踏み込めないという課題もある。教育環境を少しでも改善したいという思いで小学校の校庭の芝生化を打ち出している。皆さんも学校づくりでどんな事が出来るか提案をして実行してもらいたい。	9	学校教育	計画原案を策定する際の参考とします。
10/28	4	■船越3丁目と4丁目の間に360世帯の大きな4棟建てのマンションの計画があったが、現時点では工事が中断されており、防災面で非常に危険な状態である。急傾斜地の工事が中断されると保水力の無くなった山から水がどんどん出て来る。もう我慢の限界であり、県と市と我々近隣住民が話し合っ、これからどうするか進めたい。市長に視察していただき、危機感を共有して欲しい。	■あの土地の開発が止まっているのは存じあげている。市には他にもそういう土地がある。一度開発許可を出した工事を後で不許可にすることは国の法律では難しいが、そのままにはできない。是非一度、現場を見せていただきたい。市で出来ることを考えたい。	6	防災・防犯	事業の実施や見直しの参考とします。 【補足】 平成19年12月の工事中断以降、危険箇所の安全対策について地元の皆様からのご要望を受け神奈川県横須賀土木事務所及び市都市部で現地調査を実施し、行為者(事業主、工事施工者)に対する安全対策の指導、また今後の工事再開に向けた対応、開発許可の地位承継の手続き等現在の状況確認を行っております。 ご要望のありました現地の視察につきましては、11月30日に現地調査を行い状況を確認させていただきましたので、今後も一刻も早い事業再開、防災対策に向けた取り組みを地元の皆様のご意見を踏まえ進めたいと考えています。 【開発指導課】
10/28	5	■田浦では自衛隊関係の長浦港の土地造成工事が多いが、この工事に並行して海へのアクセスを可能とするような海岸の散策路や公園のような場を整備して欲しい。それによって防災の問題も解決する。	■海岸は横須賀の魅力のひとつであり、田浦の皆さんはこれまで我慢をされてきたと思うが、所有者の問題をどう乗り越えるかである。	16	その他	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足
10/28	6	山の問題についても、緑豊かで良いがジャングル化している。市の行政の力で伐採などを行って木をよみがえらせる様な施策を行って欲しい。	山も所有者が同意すれば防護壁などを作ることが出来るが、所有者が分からない場合、同意しない場合にどうするか。横須賀市では緑の基本計画を作っており、緑の基本条例も検討中なので、パブリックコメントなどを利用して意見を出して欲しい。	1 自然環境	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/28	7	■平成16年の横須賀港湾計画改定案に対しても市民意見を出したが、田浦は商店街も含めて街が活性化していない。田浦の街を活性化するには外から人を呼ばないといけないが、海岸線に車が入れない。港湾施設の所に桟橋やバスの駐車場などを整備するといったことを計画して行けば活性化されると思う。	■外から人を呼ぶのは大事だと思う。私も市外の方に会うときは観光パンフレットを渡している。ただし、勝手に横須賀市が田浦をどうするということも言えない。地域の皆さんがどうするかについて考え、提案して欲しい。大型バス駐車場は面積も必要なので、ここなら、というような提案もして頂きたい。	10 地域経済・雇用	意見として伺いました。
10/28	8	■長浦・田浦・船越は明治以来の海軍の施設があつて景観に関しては耐えに耐えて来た。とにかく、海が見えない。そして、何か敷地に変化が生じる時には自衛隊が来るというのが地域の方程式だった。たまには市民の為に何か作ってくれても良いのではないか。	■田浦・長浦の皆さんがなかなか海に親しめていないという事が今日は認識できた。だからといって、急にあの土地を買って、とすぐに申し上げるというわけにはいかないが、そう認識させて頂いた事はありがたいと思う。	16 その他	意見として伺いました。
10/28	9	■横須賀は危機的な財政状況にあり、未来の子供達にそのツケを回してほしくない。美術館は毎年3~4億円、よこすか芸術劇場は毎年7億円の借金が出るという。建設費をいかに回収していくかが次の世代にツケを残さない事につながる。市民の努力も必要だが指針をはっきりしてもらいたい。建設費をいかに返済していくなどの目標を設定してほしい。	■財政の状況は借金だけで3110億円。これをどうするかが私の大きな課題だと思っている。指針としては、新規の施設整備は一旦すべてストップするとしている。一方、皆さん1人1人が出来ることもある。例えば、新しいごみ焼却場の建設も皆さんが毎日出すごみの量を減らせば小さな施設でよく、コストが減る。こうした財政状況を直視してもらうことが出発点である。	15 財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/28	10	■保育園の待機児童もたくさんいる、無駄な税金をそういうところに回す努力が必要だと思う。	■待機児童解消については、財政状況が厳しいので色々工夫しようと思っている。例えば、新規に保育園を作るとしたら横須賀市が建設にあたりお金を補助しなければいけない仕組みになっているが、既存の保育園の施設の定員を40人から45人に増やすとか、1つの保育園が5人定員を増やせば、あまりお金を掛けずに200人の待機児童を吸収できる。	8 子育て	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/28	11	■市長は市の借金の額をいわれているが、40万の中核市として職員の人数、議員の人数は適切なのかという疑問がある。そういう検討もした上で、市民に分かりやすく説明してほしい。ただただ危機感をあおるだけではなく、具体性のある真の数字を市民に示してほしい。そうすれば市民も協力する。	■私も同じ問題意識を持っており、正確な情報提供の必要性を感じている。3~4年の財政の基本となる計画を作り、それに基づき市民の皆様へ現状を伝える様な白書を作って全戸配布をしたい。市議会議員の数は市議会の中で議論してもらうことだが、市職員の数は私達で考えないといけない。人件費については、一律ではなく頑張っている人にはしっかり払う制度にしたい。	15 財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/28	12	■命を大切に作る街、人づくりの街をという考えが示されていたが、人の基盤は乳幼児の時に作られる。母親が仕事をしながら子育てをするのは大変であり、子どもの育成は学校だけでなく乳幼児の時期も大切であるということをお願いしたい。	■多くのお父さんお母さんがストレスを抱えて子育てをしている。それが子供に影響してはいけない、育つ環境に差があってはいけないと思うが現実には差がある。そうした現場の人たちの声を聞きながら取り組んでいきたい。いろいろなご提案を頂きたい。	8 子育て	既に基本計画に盛り込まれています。
10/28	13	■乳幼児の育ちが大切、一方で箱物は作らないというなら、学校の空き教室の有効利用により、公設民営で各中学に幼稚園を作れば良いのではないか。	■学校の空き教室の有効利用は私も大事だと思っている。セキュリティの問題であるとか、マンション等の建設により子供の数が急増した時に対応出来るかとか、検討すべき点もあるが、空き教室を使った学童保育など有効利用の方策を考えたい。	8 子育て	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/28	14	■崖地の問題について、防災対策をやっても助かっているが、やったところが逆に水があふれて困っている。市では排水路は60ミリで計算しているというが、100ミリを越すような水が出る時もある。京浜急行のガード下あたりは、長靴はいても水が入ってしまうぐらい水がたまる。これでは横須賀市の市道とは言えない。その辺の実態も是非視察してほしい。	■防災についてはゲリラ豪雨といった話もあるので是非現場を視察したい。	6	防災・防犯	事業の実施や見直しの参考とします。 【補足】 急傾斜地崩壊危険区域内での防災工事は、年次計画を元に神奈川県により実施されています。 工事箇所や状況にもよりますが、通常、コンクリート張りの防災施設にあっては、がけの裾部分に排水溝を設置します。自然のままのがけの場合には、雨水は地表面から地下にその多くが浸透しますが、コンクリート等で固めた場合には、表面をそのまま流れ落ちていきますので、それを受け止めるために、排水施設(側溝)を設置することとなっているものです。 お申し出の内容ですが、防災工事およびそれによりできた防災施設と、道路にあふれ出す雨水との間の因果関係が、はっきりいたしません。そのため、現時点では、経過を観察し、道路や排水関係の事務を所管する部局等にて、対応することといたしたいと考えております。 【傾斜地保全課】
10/28	15	■私は20年ほど福祉の仕事をした。そこで学んだひとつが人を大切にすること、お互いに助け合うということ。それでも無理な場合は公助となるが、一番大切なのは自分でがんばること。自分でできる範囲のことはやることだと思っている。	■私も自助、互助、そしてその後には公助がくると思っている。ただまずは自助だからと丸投げするのではなく、自助を支援するにはどうすればよいか、互助を促すには、公助をいいサービスにするにはどうすればよいかについて、考えていきたい。	14	地域自治活動	計画原案を策定する際の参考とします。
10/29	1	■市会議員と市長の給与について教えていただきたい。他の都市では日給制になっているところもある。	■市会議員の給料は年収1,100数十万円である。市長はまだ1年たっていないので把握していない。現在報酬等審議会と呼ばれる外部委員が参画する会議に対して給与についての諮問しており、その結果を受けて検討したいと考えている。	16	その他	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/29	2	■市役所本館の1階にパーティションがあるが、よく色が変わっている。それだけの費用でも財政状況が緊迫している中、無駄ではないか。	■いろいろなところで無駄が目につくと思う。その時はその場でもご意見を頂戴したい。また、目安箱だけではなく、様々なところにアンケートを配布したいと考えている。	15	財政	意見として伺いました。 【補足】 個人情報保護の観点から、窓口と内部処理を明確に分ける目的で、窓口にはブルーのパーティションを設置していました。その後、平成21年3月に戸籍担当だけでなく、窓口サービス課全体として前記観点から現状のグレーのパーティションを導入するに至っています。 その際、窓口の統一化という観点から、高さ及び色の統一を図り、推奨品提案をインターネットで行い、入札した結果の物であります。 なお、不要となった当初のパーティションは、庁内での有効活用を行っています。 【窓口サービス課】
10/29	3	■アンケートについては何度も出しているが、いい加減な答えしか返ってこないの、シッカリとした回答を期待したい。	■必ず最初に目を通すが、回答は各部局をお願いしている。その際に、指示を強く出していきたい。	16	その他	事業の実施や見直しの参考とします。
10/29	4	■横須賀ネイビーパーガーや海軍カレーなど、町おこしとしてこうしたものを活用することは良いと思うが、軍に関係する表現を使うことに違和感がある。名称変更すべきではないか。	■率直に申し上げて、基地のまちという表現が持つマイナスイメージをプラスに転じる方策としては有効ではないかと思う。ただし、そういったご意見は他からもいただいている。これらの商品は非常に売れ行きがよいのも事実であり、今後違う商品開発という形は続けていきたいと思う。	16	その他	意見として伺いました。
10/29	5	■全国的に人口が減少していく中、横須賀市も人口は減少するのは当然である。それに対してどのように横須賀を再生しようと考えているのか。軍港を平和な港に再生することで活性化していくべきではないか。	■人口減少に際して市役所が取るべき施策は、1つはその想定される人口の規模に合わせた施設等に変更していくことである。もう一つはそうはいつても人口を増やす努力を続けることであると考えている。	11	集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/29	6	■マニフェストの中で緑を強調しているが、現実にはあらゆるところで山が乱開発されている。	■みどりが削られているのにはこころを痛めているが、あくまでも私有財産であるため、行政として何ができるのか、市民の皆さんと考えていきたい。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。
10/29	7	■横須賀市は発達障害に対する特別支援教育が遅れているようである。校長や教頭のレベルでも発達障害に理解がないことがある。出来る限りの啓発活動をお願いしたい。	■発達障害についてはなかなか認知が進んでいないが、法の趣旨に添って横須賀市として対応していくことが必要であると考えている。校長や教頭が理解していないということについては、再度確認しておきたい。	9	学校教育	既に基本計画に盛り込まれています。 【補足】 本市では、発達障害等の課題のある子どもたちに対して、「教育支援臨時介助員制度」等をつくり、さまざまな観点からサポート体制を推進しています。また、各学校には特別支援教育コーディネーターを配置し、校内支援体制を構築しているため、校長、教頭を含め、発達障害に対する理解がないことは考えにくいと思うのですが、より適切な対応ができるよう、研修を継続します。 【学校教育課】
10/29	8	■追浜地域の4つの小学校の適正配置検討協議会の結果、当地域の小学校は全て残ることとなった。その結果、各学校とも余裕教室を多数抱えることになった。一方で追浜地区では特別養護老人ホームや老人保健施設が一カ所もない。余裕教室を活用した福祉施設の設置をお願いしたい。	■特別養護老人ホームや老人健康施設が地域で見ただけに偏在している状況にある。その最大の理由は、建物だけにしか補助が出ず、土地に補助を出さない仕組みであるからであるが、営利を目的とした事業体に市が土地を提供することも難しい問題である。余裕教室を活用したデイサービスの提供などは進めていきたい。	3	高齢者福祉	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/29	9	■保育園について、待機児童の数が一向に減らない。保育園に入所できる状況を提供していただきたい。	■待機児童が多い事への対応が必要であり、今ある保育園の定数を増やすことを考えたい。	8	子育て	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/29	10	■当該施設の図書室について、上の階で運動をしていると足音が響いてきて、読書環境が劣悪である。また、図書室内でのパソコン利用も、耳障りである。良好な読書環境を構築していただきたい。	■図書室については今後建て替えの際に留意するようにしたい。また、ルールについては利用者も含めて全員で考える問題である。	16	その他	意見として伺いました。
10/29	11	■学童保育が近所に出来たが、地域の子どもが入所しようとしても一杯のための歩いて30分以上もかかる場所に通わざるを得なくなっている。こうした状況は改善が必要ではないか。	■学童保育は保護者が運営している民設民営の組織であり、市から定員を増やすべきということを依頼しにくく、難しい。問題があることは認識しておきたい。	8	子育て	意見として伺いました。
10/29	12	■計画はなかなか実践が伴わない。柔軟性のある計画であるべき。	■計画は実践が伴わないという印象を与えていたのであれば、まず、それを払拭することが重要な役割だと認識した。	16	その他	計画原案を策定する際の参考とします。
10/29	13	■予算をつぎ込んで介護や福祉などでは、常に人材不足である。高齢化が進む中、雇用の面からも、予算を充実することにより、結果的にその投資が帰ってくる。	■経済対策として介護を捉えると、介護本来の意味づけが見えなくなる可能性もあるが、土建業に携わっていた人が介護に参入するということもあって聞いており、雇用の観点から検討することは重要だと思う。	10	地域経済・雇用	意見として伺いました。
10/29	14	■歳出の問題について、長野県では国民健康保険費の歳出が少ないという状況もある。こうした状況を分析しながら、医療費の削減について、健康づくりとして、現在バラバラの取組が行われているが、一体的に考えてはどうか。	■健康でいることが税金の無駄遣いを減らすことにつながると思っている。色々な部署が健康に関する仕事をしていることが事実であり、市民の方には窓口が1つになるようにして、横断的に取り組めるようにしたい。	15	財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/29	15	■アジアでは中国や韓国の経済成長がめざましく、今後の産業のあり方としてこうした国との関係を重視すべきではないか。	■今後の産業として中国やアジアに目を向けるべきというのは同意見である。YRPはそういった視点でも活用できる点が多いと考えている。	10	地域経済・雇用	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/29	16	■この地域のバス交通は京浜急行の独占状態であり、東京と比較してもサービスが悪い。行政としての関与が必要ではないか。	■そういった独占状態にあるという現実を踏まえて、どうい関係構築かが重要である。私企業として利用者の声を聞くことは当然であると思うし、市としても市民の声を伝える努力はしたい。	16	その他	意見として伺いました。
10/29	17	■厳しい財政状況をうけて、来年度予算には各部署にマイナス5%を期待すると指示したと聞いている。やむを得ない点ではあるが、こうした財政状況にしたのは市民の責任ではなく、市民に責任を転嫁しないでいただきたい。特に、重度医療制度については障害者にとって死活問題であり、是非存続し、市民の健康と安全を守ることを市政の第一義をしていただきたい。	■重度心身障害者に対する医療費制度の存続について、県と連携して傷害のある方に対する医療面も含めた支援制度を含めて考えている。財政の悪化により福祉サービスを低下させるのは本意ではないが、本当に必要な人に必要な支援が行き渡っているかの見直しは行っていきたい。	4	障害者福祉	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/29	18	■三浦半島の西側に天神島と呼ばれる場所があり、非常に優れた場所である。これまで市の職員が管理していたが、これからはアルバイトにすると聞いている。財政の問題とは別にして文化の問題として正規職員を置くべきである。	■今は博物館が管理していると思うが、そのよさを積極的に伝えていきたいと思う。	16	その他	意見として伺いました。
10/29	19	■天神島では、有料でも来たいという声をよく聞いた。こういうところでは、入場料をとり、その費用を維持管理に活用していく事も検討すべきである。	■猿島では、猿島ガイドを養成している。今後有料でのガイドもふくめて、その活用方法について検討しており、その結果をうけて、天神島での導入も検討したい。	15	財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。 【補足】 天神島臨海自然教育園は、昭和41年（1966）の開設以来、県名勝天然記念物に指定された自然環境を永遠に後世に残し、学術研究、あるいは環境学習の場とすることを目的に、地元と漁業関係者の理解と協力の下に博物館が運営し、多くの市民に利用されてきました。このようなすぐれた文化財を保護し、県民・市民が豊かな自然を享受できるよう配慮することは県と市の務めとされています。また、公立の博物館の役割として、入館・入園を無料とし、子供から大人までの利用の便を図ってきました。ご指摘の入園料徴収は入園者を制限する要因となる恐れがあり、現在の自然教育園の運営方針にそぐわないものと考えます。また、教育園の案内に関しては、ビジターセンター非常勤職員と本館学芸員が連携して対応しています。横須賀市教育委員会では、今後も引き続き、この豊かな自然を保全し、広く県民・市民に活用していただくよう努めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 【博物館運営課】
10/29	20	■テレビで見たのだが、四国のあるまちでは、高齢者を活用してゴミを36分類し、ゴミの減量に努めているようである。こうした他地域のよい取組を積極的に取り込むべきではないか。	■情報収集を積極的に進めて、良い事例は横須賀市にも取り入れたい。当然担い手やお金の問題もあるが、そういった面も含めて良い事例があれば教えていただきたい。	16	その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/29	21	■子どもの育成について、まず挨拶を基本として、家庭で挨拶の励行すべきではないか。	■挨拶を基本とすべきというのは同感である。学校教育だけではなく市役所の職員に対しても同様である。	8	子育て	計画原案を策定する際の参考とします。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/29	22	■三浦半島は関東のオアシスであり、三浦半島に行けば楽しいものがあり、京浜急行に乗って追浜まで来れば、乗客のマナーやレベルが上がりが雰囲気が変わるといわれるようになりたい。	■まさにご意見は理想である。一步一步の取組が必要であると思うので、皆さんと頑張っていきたい。	11	集客・定住	意見として伺いました。
10/29	23	■商店街の活性化のためにそれぞれの地区で観光名所を作る話がある。追浜地区では第三海堡を利用して観光資源をつくりたいと考えている。市民活動によるまちづくりには非常にうってつけの内容である。	■第三海堡については、NPO法人を立ち上げており、管理運営も費用がからないと聞いている。移設費用についても国の負担であるため、横須賀市でも積極的に利用方法を考えたい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。 【補足】 第三海堡の遺構は、大正10年(1921年)東京防衛を目的として設置された砲台施設であり、当時の土木・建築技術を駆使した学術的に貴重な施設です。市民有志や地元関係者から「まちづくりに生かしたい」との要望から、保存展示が可能かどうか、現在、国と調整しています。 【公園建設課】
10/30	1	■平成8年に、衣笠山公園は大改修をしたが、桜の樹齢が古くて衰えてしまっている。肥料や消毒も不十分である。日本の桜の百選だが地域住民として恥ずかしい。ボランティアで桜の手入れをしているが、微々たる力である。来年は再生委員会などを設置し一緒に取り組んでほしい。	■官民協働でと仰って頂き心強い。市の財政は厳しい状況だが、お金を出すだけが協力ではない。協働で進めたい。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	2	■厳しい行財政を回復させるためにも、産業を市内に入れ、雇用を生み出すことが必要である。米軍関係で、現在約5000人の雇用を1万人に増やすなどの交流を進めるべきである。また、日産自動車佐原工場跡地についても、スポーツ振興だけでなく、早期の企業誘致や、中小企業の研究開発用のスペースを整備の活用などが必要。産業育成を積極的に取り組んでほしい。	■同跡地は、同社から、教育のために使ってほしいと寄付を頂いたという経緯がある。市全体として産業を盛り上げて行く必要があると思っているためご意見は参考としていきたい。	10	地域経済・雇用	意見として伺いました。
10/30	3	■中長期的には、海を活かした地域戦略が必要である。(独)海洋研究開発機構や、(財)電力中央研究所などを活かした戦略を策定し、進めてほしい。あわせて、久里浜港の船舶は運営が厳しい状況にあるため、城ヶ島や鎌倉を回る観光戦略なども考えてほしい。	■(回答なし)	11	集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。
10/30	4	■防災に関し、本町内会は、約900世帯あるが、公園が一つしかなく、避難場所の確保等に苦慮している。避難所等について、世帯数に対する広さなどの基準があれば教えていただきたい。また、横須賀の防災対策についての考えも聞かせてほしい。	■広域避難所は確保すべきだが、具体の基準については把握していないため勉強したい。防災については、一般に大規模な災害の経験則として、災害発生後、72時間は地域で支え合うことが重要との認識があるため、自助・公助・共助の中でも市として共助を大切に、お互い何ができるのか考えていきたい。	6	防災・防犯	質問事項と捉え回答します。 【回答】 大規模火災から避難するための広域避難地は、神奈川県大震災火災避難対策計画に基づき公園や学校グラウンドを指定しています。広さの基準は、避難者1名につき1～2㎡です。 なお、防災対策についての出前トークを行いますのでご利用ください。 【危機管理課】
10/30	5	■教育について、教職員の増加等により、教員が各教科の準備・勉強等を実施できるような環境を整えていただきたい。	■市の教育現場には、不登校やいじめ、虐待など様々な問題があると認識している。また、横須賀市内の教員に関しては、神奈川県職員として、文部科学省の要綱に基づき指導を行っている。このため市が出来ることは限定的だが、補正予算により、公務を支援するためのPC導入を行うなど支援を進めていく。ただし、学校は市役所ではなく、地域でつくるものである。積極的に関わってほしい。	9	学校教育	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	6	■平作川でカワセミをみることができた。貴重な横須賀の自然を守ってほしい。	■カワセミのほか、横須賀ではホタルが30カ所以上でみる事ができる。こうした自然を次世代に残すためには、努力が必要と認識している。	1	自然環境	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/30	7	■北久里浜の商店街では樺が伐採されてしまい、残念である。木は自然のクーラーとして環境に良い影響を与えていたのではないかと。	■商店街の樺については、地元の方の要望にも配慮してのことと思われるが、枯れた街路樹があるような場所の植樹など積極的に提案頂きたい。また、お客さんとして、商店街にも声を届けていただきたい。	1	自然環境	意見として伺いました。
10/30	8	■化学物質による子どもの行動異常などが新聞報道されている。基本計画においても、総合的に化学物質についても検討頂きたい。	■基本計画と同じタイミングで、本市環境基本計画の策定を行うため、環境審議会を立ちあげた。こちらでの論点としていきたい。また、ぜひ審議会の傍聴もお願いしたい。	2	地球環境問題	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	9	■「水と緑に親しめるまち」に関連し、横須賀弾薬整備補給所大矢部弾庫は、広大な敷地内に手つかずの自然が残っている。町会としても活用方針をまとめて提出しているが、市としても、ぜひ国に働きかけ、基本計画でも積極的な活用を検討してほしい。	■市議会時代に敷地内に入れて見せて頂いたことおある。緑全般に関連して、所有者はひとつのポイントになる。大矢部は、国の所有地のため、市として活用することは難しいが、まずは、まちなかにあるため、弾薬庫として利用を辞めてほしいと言っていくことが重要である。また、緑も残してほしいと言う必要もあるが、所有者の国の都合もあるだろう。町内の要望を拝見し、国にも届けたい。	1	自然環境	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	10	■少子高齢化が進む中で、老人にいかにも働いてもらうかについて市長や市職員だけでなく我々も考える必要がある。その際に、ボランティアというだけでなく、年金を受給しても、働いているのであれば収入を得て生きがいを感じることは必要である。	■ご指摘の通りと思う。高齢者の方々が生き活きと働き、介護保険を使わず、医療費も安くすめば、それだけで税金の節約につながっている。市もシルバー人材センターを通じて公園の剪定など業務をお願いしている。もっとこの枠を広げられないかと思う。	5	生きがい	計画原案を策定する際の参考とします。
10/30	11	■衣笠地区には活断層があるが、この上は、建築を認めず、公園や緑化地域とすれば、防災と緑化の2つの目的が達成されるのではないかと。	■市内には大きな活断層が走っているが、活断層の上に建築を認めないという判断は現行の都市計画からしてハードルが高いと思われる。ただし、新規開発、企業誘致等においては、活断層の情報をきちんと提供していくことが必要と思う。	6	防災・防犯	意見として伺いました。
10/30	12	■地震などの災害発生時の司令塔として町内会や自治会が期待されているところであるが、拠点となる町内会館等の耐震性はしっかりしておかなければ危険である。行政の施設の耐震化を終えたのち、自治会や町内会の施設の耐震についても検討してほしい。	■町内会や自治会の耐震化は、ご指摘をふまえて、今後ぜひ考えていきたい。	6	防災・防犯	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	13	■危機的な財政状況を改善する必要がある。この際、横須賀の米軍基地の開放日には多くの観光客が訪れるという実績をふまえ、異国情緒あふれるまちづくりを進めてはいかがか。ドルで支払い可能な小売店や、英語を公用語とするなどによって、東京や横浜から訪れたいと思う町としていく必要がある。	■米軍基地をプラスの発想に転じて活用しようとする必要だと思う。軍港クルーズなども良いと思う。ドルを基本通貨とすることは難しいが、積極的に提案していきたい。	11	集客・定住	既に基本計画に盛り込まれています。
10/30	14	■市のまちおこし、地域おこしのアイデアを、市民から懸賞金付きで募集してはいかがか。	■懸賞金については、市職員向けに実現した。市職員は、提案した内容を自らの業務として担っていくこととなるが、市民の皆さんについても、提案を担うところまでやって頂ければと思う。懸賞金という形が適切かは検討が必要である。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	15	■市の財政問題を検討する上で、米軍基地問題は無視できない。基地は、放射線漏れや犯罪の発生など様々な問題があるため、市としても、国に対して、基地交付金や防衛補助金など十分要求して欲しい。	■次年度の交付金は減額となってしまい忸怩たる思いである。横須賀市民が抱えている負担はこんなものではないと国に対し伝えていく必要が有ると思っているので、本日のご意見により背中を押して頂いた。	16	その他	計画原案を策定する際の参考とします。
10/30	16	■市長マニフェストでは、町内会や自治会を下請けとしないと記載があったが、われわれ町内会は、パートナーと違って取り組んでいる。	■町内会は、市のパートナーと思っているという心強いご意見であった。しかし、市から色々な仕事をお願いしていることも事実なので、本当にパートナーと思って頂けているかどうかは、町内会の皆さんに聞いていきたい。	14	地域自治活動	既に基本計画に盛り込まれています。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足	
10/30	17	■町内会等から全住民へ配布している様々な広報誌について、大きさや記事の順番、左右の綴じ方などが異なっているが、同じ用紙で同じ書き方をするなどの規定を決めれば、無駄がなくなり、印刷費は相当変わると思われる。また、どの広報にも似たことが書いてあるため、紙面をまとめることも必要ではないか。	■具体的なご提案を頂いた。マニフェストでは、広報誌を読んで頂くための配り方の見直しを提案させて頂いたが、紙面のあり方も考えていきたい。また、現在の広報誌は発行主体が違うため、様式は異なるという問題があるが、市民の皆さんに読んで頂くことが重要であるので、あり方を考えていきたい。	16	その他	事業の実施や見直しの参考とします。
10/30	18	■基本構想・基本計画・実施計画と示されていてわかりやすい。ただし、問題に対する対応方針について、市に問い合わせると、計画があるとの回答はいただけるが、実施計画の事業レベルの話聞いたことがほとんどなかった。	■計画についてはご理解いただいても、実施されていくプロセスが市民の皆さんに明らかにされていないという問題があると認識した。実施計画についても(議会にも諮るが)、市民の皆さんに見ていただきたいと思っている。	16	その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/30	19	■衣笠山公園の桜に関連し、現状で、鑑賞に適する桜は2割程度となってしまっている。桜は、植えてから鑑賞出来るまで15年ほどかかるため、今から年10本程度増やし育て、5～10年後以降に傷んだ桜を伐採していけば、観桜を楽しんで頂ける公園になるのではないと思う。	■追浜地区は「杏の里づくり」に取り組み、一口千円の寄付を募って700本の苗木の資金を集めた。市職員も一緒に汗をかかせて頂き、地域の企業は草刈り期を貸してくれるなど、官民協働で進めている。衣笠も、何よりも地域の皆さんに盛り上げて頂き、官民一緒にやっていければと思う。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/31	1	■原子力空母ジョージワシントンの来航に伴い、水中に關しても放射能のモニタリングを行っている。しかし、横須賀市沿岸部でも奇形の魚等が発生しているが、全く反応している様子もなく、信頼がおける装置であるのか。	■モニタリングポストを信頼することを前提にないと対策を立てることができないと考えている。横須賀市のモニタリングセンターを視察した際には、微量の放射能も感知しているようだった。	6	防災・防犯	質問事項と捉え市長が回答しました。
10/31	2	■大規模直下型地震の際の影響を懸念しており、独立行政法人港湾空港技術研究所に大規模地震の際のシミュレーションを行っていただき、結果を日本政府や米国政府について示してほしい。	■市役所と国との役割分担の中で検討していきたい。	6	防災・防犯	意見として伺いました。
10/31	3	■三笠公園でのラジコンボートを走らせることについて、25年間要望し続けているが、叶っていない。公園施設では、立ち入り禁止地域が多く、鑑賞することに主眼がおかれており、有効に使えていない。	■三笠公園の池のラジコンボートについては、噴水施設に衝突する等を理由に長らくお断りしている。指定管理者制度が導入されており、公園管理は民間事業者に委託している。民間事業者は市から委託されているため、管理が厳しくなっていると思われる。三笠公園だけでなく、他の公園についても要望してはどうか。	11	集客・定住	意見として伺いました。
10/31	4	■馬堀町の海岸沿いの堤防を整備した結果、道路が狭くなっており、自転車が自動車と接触しそうになるくらい、自転車が走りにくくなっている。	■より全体的な話をすると、道路は自動車のためだけではなく、歩行者や自転車でも走ることができるようにしなければならぬと考えている。	16	その他	既に基本計画に盛り込まれています。
10/31	5	■日産自動車の追浜工場にて、電気自動車(EV)を製造する予定である。横須賀市は電気自動車に必要な急速充電器などを整備することで、最先端の地域として国内外に発信してほしい。	■どこに対して、どのような仕組みで急速充電器を設置するのかを検討する必要がある。例えば、市役所であれば駐車場に設置することも可能であろうが、ダイエーやイオンなどに設置するためには民間事業者であるため、合意形成が必要である。また、民間事業者に対して、補助金を与えて設置していただくのか、あるいは要望だけするのか等手法についても検討する必要がある。	2	地球環境問題	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/31	6	■横須賀市芸術劇場、横須賀市美術館、ソレイユの丘においてネーミングライツを募集すればよいのではないか。	■ネーミングライツについては、仮に横須賀市で実施した場合、募集が集まらなかったり、集まっても金額が低かったり、施設に相応しくない名前になるリスクも秘めている。仮によい企業から要望があれば整備したいが、現時点では大々的に実施する予定はない。	15	財政	意見として伺いました。

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野		対応及び担当課の回答または補足
10/31	7	■横須賀市芸術劇場は有名な人を呼ぶだけではなくて、地域のストリートミュージシャンなどにとっての目標となる場所にしてもよいのではないかと。	■(意見無し)	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/31	8	■横須賀市の救急医療センターが手狭となっており、前市長は移転すると述べていたが、吉田市長からはそのまま活用するとしており、今後の医療体制が懸念される。	■今後、どのように活用すれば患者にとって十分にサービスを提供することができるのか検討する必要がある。また、直ぐ移転しないことに関しては、財政的な問題もある。財政的な問題が医療にも影響してくるほど、事態が深刻であることも理解していただきたい。	7	医療体制	計画原案を策定する際の参考とします。
10/31	9	■市長のマニフェストに「職員のサービスを向上すること」や、「ひとにやさしいまち」と掲げられているが、先日投票所に行ったときに市役所の人に非常に丁寧に対応していただいた。	■うれしく感じている。市役所の職員にとっても励みになると思う。	16	その他	意見として伺いました。
10/31	10	■市議会と市長の協力体制が必要ではないか。また、市議会を傍聴していると、議会の答弁においても静かな空気であると感じた。	■市議会も私も横須賀をよくしたいという気持ちは共通である。今はお互いを理解するための期間ではないか。本会議の後にも常任委員会も設置されており、深い議論を行っているので、もしよければ併せて傍聴していただきたい。	16	その他	意見として伺いました。
10/31	11	■東京新聞によると、市長は負債を減らすことは難しいと述べていたが、将来の負債を減らすために総合計画の中でも財政について記述するべきである。	■財政負債については、情報の公開を大前提としている。ゴミの焼却炉の建て替えを考慮すると、あまり減らない可能性もあるが、任期の間どの程度負債を減らすことが可能であるのか、様々な財政の指標を示した横須賀市の財政基本計画を策定し、これを元に財政白書を作成し、横須賀市民に全戸配布したい。	15	財政	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/31	12	■観光は周辺市町村と協働で実施する必要があると思う。	■観光については、従来日帰り客が多かったが、1泊2日できる観光商品を策定したい。但し、市役所は観光資源を作ることはできず、現在市民委員が中心となって観光ガイドを策定しており、他の市民からも多くの意見をいただければと考えている。	11	集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/31	13	■以前、選挙公報の音声版を出版することについて、陳情を出したが、議員が視覚障がい者について何も知らないと感じて、非常に腹立たしいと感じた。	■選挙公報の音声版の出版については、後日確認したい。	4	障害者福祉	質問事項と捉え市長が回答しました。 【補足】平成21年6月の市長選挙においては、音訳ボランティアグループのご協力により対応いたしました。 【選挙管理課】
10/31	14	■根岸町の投票所で小型の点字がなく苦労したと聞いている。市政100年記念式典の人権都市宣言において、障がい者差別を無くすと述べられていたが、現状は何も変わっていない。視覚障がい者にとって、本日の市長の話でも、指示語が多く、把握できない。	■視覚障がい者にとって、不自由があってはならないと考えている。今回の説明にあたっては、可能な限り配慮したつもりであったが、それでも不足しているのであれば、申し訳ないと感じている。	4	障害者福祉	意見として伺いました。
10/31	15	■電気自動車については、音がしないため、全く把握できない。	■電気自動車については、ヨーロッパではあえて音が出る装置を付けている。横須賀市としても日産自動車に対して要望したいと考えている。	4	障害者福祉	意見として伺いました。
10/31	16	■医療連携クリティカルパスについてどのような施策を行っているのか。	■地域連携・病診連携は重要だと感じている。特にかかりつけの病院の果たす役割は高くなっており、仮に患者が慢性期になったときでもかかりつけの病院に通えるようにするためには、地域連携クリティカルパスが効果を発揮すると考えており、是非進めていきたい。	7	医療体制	計画原案を策定する際の参考とします。 【補足】急性期は専門性の高い病院、慢性期は地域の診療所で受診できるように、地域連携クリティカルパス普及に向け、市医師会と調整を図っているところ。 【保健所総務課】

開催日	意見	意見の概要	市長回答の概要	分野	対応及び担当課の回答または補足
10/31	17	■医療に関する情報を有機的に連携して、ボランティアの人が働きやすくしていただきたい。また、医療と介護が縦割りとなっており、これも情報をつなげてほしい。	■市民病院については、情報を徹底しているつもりであるが、私立病院に対して強制させることは難しい。但し、地域連携クリティカルパスを導入することで、診療報酬の面でもメリットがある等啓発することは可能であるため、進めていきたいと考えている。医療と介護の連携については、特に看取りを自宅で行うことを希望している人もおり、生命の尊厳から考えても重要だと感じている。	7 医療体制	計画原案を策定する際の参考とします。
10/31	18	■基本計画についてだが、コンセプトについては理解できたが、具体的な施策はまだ明確ではない。提案としては、ある地域の行政センターをすべて民間人に任せてみてはどうか。横須賀市でも民間企業でノウハウを蓄積した人を活用でき、横須賀市で働いている職員の活性化にも繋がるのではないかと。	■行政センターの役割を検討したいという思いはあるが、横須賀市にはコミュニティセンターもあるため、施設全般において参考にさせていただきたいと考えている。	16 その他	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。
10/31	19	■海外では圧縮率の高いゴミ収集車を用いており、人件費や施設の負担を下げている。横須賀市でもゴミ処理施設だけでなく、収集においても検討する必要があるのではないかと。	■ゴミの収集もあるが、市民の皆さんがゴミの量を少なくする努力をしてくれればゴミ処理施設も小さくて済むため、減量化については市民の皆さんから協力いただきたいと考えている。	2 地球環境問題	意見として伺いました。
10/31	20	■自給率を上げるため農産物のB級品を乾燥食材にして、横須賀市のブランドとして発信することはできないかと。	■(意見無し)	11 集客・定住	意見として伺いました。
10/31	21	■現在の市長の思いである水と緑に、CO2削減も加え、ある市が実施しているように、商業施設をある1日の一定期間だけ一時的に電気を落とすことができれば、地域外にも情報発信することができるのではないかと。	■(意見無し)	2 地球環境問題	意見として伺いました。
10/31	22	■市民参加についてだが、現時点の広報は情報の羅列となっており、理解しにくい。数値化によって市民にとって理解しやすい施策となるのではないかと。市民からいただいた意見を数値化して施策に活かす機関を市役所内に設けてもよいのではないかと。	■(意見無し)	13 市民参加	意見として伺いました。
10/31	23	■第3次産業のインフラを発展させることで、企業を定着させる必要があるのではないかと。特に情報通信産業は特定の場所に依存する必要がないため、横須賀市でも可能ではないかと。	■インフラも必要かもしれないが、YRPは高いポテンシャルをもっているため、今後は前任の市長から実施している企業誘致に力を入れていきたいと考えている。	10 地域経済・雇用	意見として伺いました。
10/31	24	■横須賀市は品川から離れているため、交通費などのコストが高い。また、横須賀市は自然環境に恵まれているが、他のベッドタウンに比べて家賃相場が高いと感じるため、補助等が必要ではないかと。	■横須賀市に住んでもらうためには、家賃補助等も含めて様々なサービスが必要だと思っている。	11 集客・定住	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とします。